
フリーターの意識・就労実態調査(2020年)

2020年8月 株式会社マイナビ 社長室 HRリサーチ部 アルバイトリサーチチーム

<調査目的> フリーターの実態・意識を明らかにし、企業の採用活動に資するデータを取得する。

<調査地域> 全国

<調査方法> インターネット調査

<対象者> ・15～44歳の男性は既卒、女性は既卒かつ未婚のうち、

①パート・アルバイトとして働いている人／②非就労者のうち希望する雇用形態が「アルバイト・パート」の人

<回答数> 1,670サンプル

<実施期間> スクリーニング調査：2020年6月29日（月）～2020年7月1日（水）／本調査：2020年7月3日（金）～2020年7月6日（月）

<実施機関> 株式会社インテージ

※調査結果は、端数四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

■本資料に掲載のデータ、図版等の無断転載を禁じます。資料のご利用やご質問等に関しては下記までご連絡ください。

株式会社マイナビ 社長室 HRリサーチ部 アルバイトリサーチチーム

E-mail : myArm@mynavi.jp

◆調査概要	P3-P5
◆TOPICS	P6-P8
◆1.サマリー	P9-P21
◆2.データ編	
1.回答者プロフィール (性年代/居住地/最終学歴)	P23-P26
2.フリーターの実態 (フリーターになったきっかけ/正社員経験/正社員経験期間/不安なこと/貯蓄額)	P27-P32
3.就労実態 (職種/勤務日数/勤務時間/通勤時間/勤続期間/月収/世帯収入)	P33-P41
4.就労意識 (アルバイトの目的/やりがい/理想の上司像/就業意向と求職活動/非求職活動理由)	P42-P47
5.仕事さがし (仕事探しの絶対条件/入社決め手)	P48-P50
6.離職・定着 (継続意向/満足度/前向きさ/推奨意向/勤務先の実情/早期離職経験と理由)	P51-P59
7.今後の意向 (正社員意向/正社員意向・非正規社員意向の理由/副業意向/氷河期支援認知)	P60-P65
◆3.ウエイトバックについて	P66-P68

調査概要

調査手法	インターネット調査（スクリーニング調査＋本調査）																																																																																												
対象者条件	<p>・15～44歳の男性は既卒、女性は既卒かつ未婚のうち、</p> <p>①雇用形態が「パート・アルバイト」</p> <p>②完全失業者かつ探している仕事の形態が「パート・アルバイト」</p> <p>③非労働力人口かつ家事も通学もしていない者のうち、就業内定なし、希望する仕事の形態が「パート・アルバイト」</p> <p>※完全失業者は「無職(家事・手伝いや通学などをしている)」と定義 ※厚生労働省のフリーター定義より</p> <p>※非労働力人口は「無職(家事や通学をしていない)」と定義 ※厚生労働省のフリーター定義より</p> <p>※通常3業種（市場調査／広告代理店／コンサルティング会社）は除外</p>																																																																																												
エリア	全国																																																																																												
ウェイトバック集計前後のサンプル数	<p>ウェイトバック集計とは：アンケート回収者の属性構成比率が実際の比率と乖離している場合、構成に合わせるように重み付けして集計すること。ただし、以降ページのサンプルサイズ表記については、ウェイトバック前の値を掲載しています。</p> <p>【回収数：ウェイトバック前】</p> <table border="1" data-bbox="526 711 1638 958"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">TOTAL</th> <th colspan="3">男性</th> <th colspan="3">女性</th> </tr> <tr> <th>15-24歳</th> <th>25-34歳</th> <th>35-44歳</th> <th>15-24歳</th> <th>25-34歳</th> <th>35-44歳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>TOTAL</td> <td>1670</td> <td>97</td> <td>341</td> <td>472</td> <td>149</td> <td>249</td> <td>362</td> </tr> <tr> <td>雇用形態が「パート・アルバイト」</td> <td>1375</td> <td>79</td> <td>287</td> <td>385</td> <td>126</td> <td>200</td> <td>298</td> </tr> <tr> <td>完全失業者かつ探している仕事の形態が「パート・アルバイト」</td> <td>193</td> <td>12</td> <td>29</td> <td>47</td> <td>15</td> <td>38</td> <td>52</td> </tr> <tr> <td>非労働力人口かつ家事も通学もしていない者のうち、就業内定なし、希望する仕事の形態が「パート・アルバイト」</td> <td>102</td> <td>6</td> <td>25</td> <td>40</td> <td>8</td> <td>11</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>【回収数：ウェイトバック後】</p> <table border="1" data-bbox="526 1011 1638 1258"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">TOTAL</th> <th colspan="3">男性</th> <th colspan="3">女性</th> </tr> <tr> <th>15-24歳</th> <th>25-34歳</th> <th>35-44歳</th> <th>15-24歳</th> <th>25-34歳</th> <th>35-44歳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>TOTAL</td> <td>1670</td> <td>236</td> <td>341</td> <td>236</td> <td>280</td> <td>350</td> <td>227</td> </tr> <tr> <td>雇用形態が「パート・アルバイト」</td> <td>1376</td> <td>192</td> <td>287</td> <td>193</td> <td>237</td> <td>281</td> <td>187</td> </tr> <tr> <td>完全失業者かつ探している仕事の形態が「パート・アルバイト」</td> <td>196</td> <td>29</td> <td>29</td> <td>24</td> <td>28</td> <td>53</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>非労働力人口かつ家事も通学もしていない者のうち、就業内定なし、希望する仕事の形態が「パート・アルバイト」</td> <td>98</td> <td>15</td> <td>25</td> <td>20</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table> <p>※『総務省・労働力調査（2019年平均速報データ）』を基に、「パート・アルバイト及びその希望者」の年齢階級別人口構成比に合わせている。</p>		TOTAL	男性			女性			15-24歳	25-34歳	35-44歳	15-24歳	25-34歳	35-44歳	TOTAL	1670	97	341	472	149	249	362	雇用形態が「パート・アルバイト」	1375	79	287	385	126	200	298	完全失業者かつ探している仕事の形態が「パート・アルバイト」	193	12	29	47	15	38	52	非労働力人口かつ家事も通学もしていない者のうち、就業内定なし、希望する仕事の形態が「パート・アルバイト」	102	6	25	40	8	11	12		TOTAL	男性			女性			15-24歳	25-34歳	35-44歳	15-24歳	25-34歳	35-44歳	TOTAL	1670	236	341	236	280	350	227	雇用形態が「パート・アルバイト」	1376	192	287	193	237	281	187	完全失業者かつ探している仕事の形態が「パート・アルバイト」	196	29	29	24	28	53	33	非労働力人口かつ家事も通学もしていない者のうち、就業内定なし、希望する仕事の形態が「パート・アルバイト」	98	15	25	20	15	15	8
	TOTAL			男性			女性																																																																																						
		15-24歳	25-34歳	35-44歳	15-24歳	25-34歳	35-44歳																																																																																						
TOTAL	1670	97	341	472	149	249	362																																																																																						
雇用形態が「パート・アルバイト」	1375	79	287	385	126	200	298																																																																																						
完全失業者かつ探している仕事の形態が「パート・アルバイト」	193	12	29	47	15	38	52																																																																																						
非労働力人口かつ家事も通学もしていない者のうち、就業内定なし、希望する仕事の形態が「パート・アルバイト」	102	6	25	40	8	11	12																																																																																						
	TOTAL	男性			女性																																																																																								
		15-24歳	25-34歳	35-44歳	15-24歳	25-34歳	35-44歳																																																																																						
TOTAL	1670	236	341	236	280	350	227																																																																																						
雇用形態が「パート・アルバイト」	1376	192	287	193	237	281	187																																																																																						
完全失業者かつ探している仕事の形態が「パート・アルバイト」	196	29	29	24	28	53	33																																																																																						
非労働力人口かつ家事も通学もしていない者のうち、就業内定なし、希望する仕事の形態が「パート・アルバイト」	98	15	25	20	15	15	8																																																																																						
設問ボリューム	30問																																																																																												

本調査では非就労者（無職者）も含め“フリーター”とする。
 ウェイトバック後の各年代、性別の内訳については以下の通り。

全体		フリーター	
		就労者 (82.4%)	非就労者 (17.6%)
年代別	15～24歳	83.1%	16.9%
	25～34歳	82.2%	17.8%
	35～44歳	81.9%	18.1%
性別	男性	82.6%	17.4%
	女性	82.2%	17.8%

TOPICS

フリーターになったきっかけ・不安なことは？

- ・フリーターになったきっかけは全体では「正社員で働くより楽だから」。
「正社員としての仕事がなかった」「家庭の事情のため」など『環境要因』は高年層ほど比率が高く、
「芸能関係やフリーランスなど、夢のため」といった『自発的な要因』は若年層ほど比率が高まる。
- ・不安なこととして「仕事がなくなることへの不安」が昨年比で5.2pt増加。
 - フリーターになったきっかけは「正社員で働くより楽だから」が最も高く24.8%。
 - 不安なこととして「仕事がなくなることへの不安」が28.5%と昨年比で5.2pt増加（昨年：23.3%→28.5%）

フリーターが今後希望する働き方は？

- ・「今現在、正社員を希望している人」/「今後正社員を希望する人」は、いずれも約4割半ば。
- ・今後の正社員希望理由は「固定給が欲しいから」、非正規社員希望理由は「趣味や他の時間との両立をしやすいから」。
- ・副業実施率は2割強、若年層ほど高い。今後の副業意向は全世代で5割超。
 - 「今現在、正社員を希望している」割合は45.7%、「今後正社員を希望する人」は46.7%。
15～24歳は「今現在正社員を希望している」割合が全体と比べて低く40.3%(-5.4pt)
 - 【今後正社員を希望する理由】は全体では「固定給が欲しいから」が最も高く78.8%。
年代別では15～24歳の「固定給が欲しいから」が全体と比較して高く84.0%(+5.2pt)、35～44歳では「賞与が欲しいから」が60.5%(+5.5pt)、「定年まで働きたいから」が35.0%(+9.3pt)と全体と比較して高い。
 - 【副業実施率】は全体で21.3%。若年層ほど実施割合は高く、15～24歳で25.1%。【今後の副業意向】は全体で53.5%。

現在の職場の入社の決め手は？

- ・入社を決めた理由は、「応募後にすぐに企業から連絡がきた」「すぐに合否通知の連絡がきた」など『迅速な連絡』のほか、「勤務条件について詳細を教えてくれた」が2割強で特に高い。
 - 【入社を決めた理由】は全体で「応募後にすぐに企業から連絡がきた」24.0%が最も高く、次いで「すぐに合否通知の連絡がきた」23.9%、「時給やシフトの融通などの勤務条件について詳細を教えてくれた」が22.9%となっている。

早期離職の経験は？

- ・早期離職経験がある人は約4人に1人。
- ・早期離職要因としては、「職場の雰囲気が悪くなかった／自分に合わなかった」のほか、「想定していた仕事内容ではなかった」「想定よりも仕事がきつかった」といった『想定とのギャップ』が4割程度と高い。
 - 早期離職経験がある割合は全体で25.6%。
早期ではないものも含めると、離職経験ありの割合は全体で63.7%で高齢層ほど高く35～44歳では72.3%(+8.6pt)。
 - 早期離職要因は「職場の雰囲気が良くなかった／自分に合わなかった」44.6%、「想定していた仕事内容ではなかった」41.7%、「想定よりも仕事がきつかった」39.6%となっている。
 - 年代別でみると、15～24歳で「上司／先輩から理不尽な指摘や指導があった」が32.4%(+5.4pt)、「シフトや休みが希望通りにならないことが多かった」が26.9%(+6.4pt)、「想定よりも仕事量が多かった」が25.0%(+7.6pt)と全体よりも高い。

非就労者（無職）の特徴は？

- ・非就労者（無職）になったきっかけは「会社を退職・離職したため」。
- ・非就労者のうち“就業意向あり”は9割以上だが、「現在求職活動をしている」人は全体の3割。
就業意向があるにも関わらず、求職活動をしていない理由は「知識・能力に自信がないから」。
 - 【非就労者におけるフリーターになったきっかけ】としては全体で「会社を退職・離職したため」31.9%が最も高く、次いで「明確な職業を思い描けなかった」23.8%、「家庭の事情のため」16.0%が高い。
 - 非就労者のうち、「就業意向がある人」は92.8%、「就業意向があり求職活動をしている人」は非就労者のうち30.7%。「就業意向がある人」のうち、「現在求職活動をしている人」は33.1%、「就業意向はあるが、現在就業活動はしていない」が66.9%となっている。
 - 【就業意向はあるが、求職活動はしていない理由】は全体では「知識・能力に自信がないから」が40.9%と最も高く、次いで「病気・怪我のために働けないから」32.4%と続く。
年代別では15～34歳で「探したが見つからなかった」が25.1%(+6.5pt)と全体と比較して高い傾向。

1. サマリー編

フリーターになったきっかけ

フリーターになったきっかけは全体では「正社員で働くより楽だから」が最も高く24.8%。就業状況別では“非就労者”の「会社を退職・離職したため」が31.9%と全体と比較して高い。年代別では他年代と比較して“15～24歳”の「芸能関係やフリーランスなど、夢のため」が高く、“25～44歳”では「正社員で働くより楽だから」の回答が高い傾向。

フリーターになったきっかけ (上位3項目)

		フリーターになったきっかけ (上位3項目)	
就業状況別	全体	正社員で働くより楽だから (24.8%)	明確な職業を思い描けなかった (25.8%)
		明確な職業を思い描けなかった (22.1%)	正社員で働くより楽だから (24.8%)
		会社を退職・離職したため (16.3%)	芸能関係やフリーランスなど、夢のため (16.4%)
	就労者	正社員で働くより楽だから (28.0%)	正社員で働くより楽だから (26.3%)
		明確な職業を思い描けなかった (21.7%)	明確な職業を思い描けなかった (22.0%)
		正社員として雇ってくれるところがなかった (16.7%)	正社員として雇ってくれるところがなかった (18.1%)
非就労者	会社を退職・離職したため (31.9%)	正社員で働くより楽だから (22.5%)	
	明確な職業を思い描けなかった (23.8%)	正社員として雇ってくれるところがなかった (20.0%)	
	家庭の事情のため (16.0%)	家庭の事情のため (19.6%)	
		年代別	15～24歳
			25～34歳
			35～44歳

現在のアルバイト先での就業実態（勤務実態）

現在就労している人の勤務日数は平均週4.4日、勤務時間は1日平均6.2時間。勤続年数は平均3.9年。貯蓄（中央値）は46万円で、年代が上がるほど・また女性の方が高い。月収の中央値は11万円。

※就労者ベース		勤務日数 (1週間あたりの平均値)	勤務時間 (1日あたりの平均値)	勤続期間 (平均値)	貯蓄 (中央値※) [19年調査結果]	月収 (中央値※)
全体		4.4日	6.2時間	3.9年	46万円 [20万円]	11万円
年代別	15～24歳	4.4日	5.9時間	1.7年	20万円 [10万円]	10万円
	25～34歳	4.4日	6.3時間	4.2年	50万円 [27万円]	12万円
	35～44歳	4.5日	6.4時間	6.0年	60万円 [30万円]	12万円
性別	男性	4.5日	6.3時間	4.1年	30万円 [20万円]	12万円
	女性	4.4日	6.1時間	3.7年	50万円 [20万円]	11万円

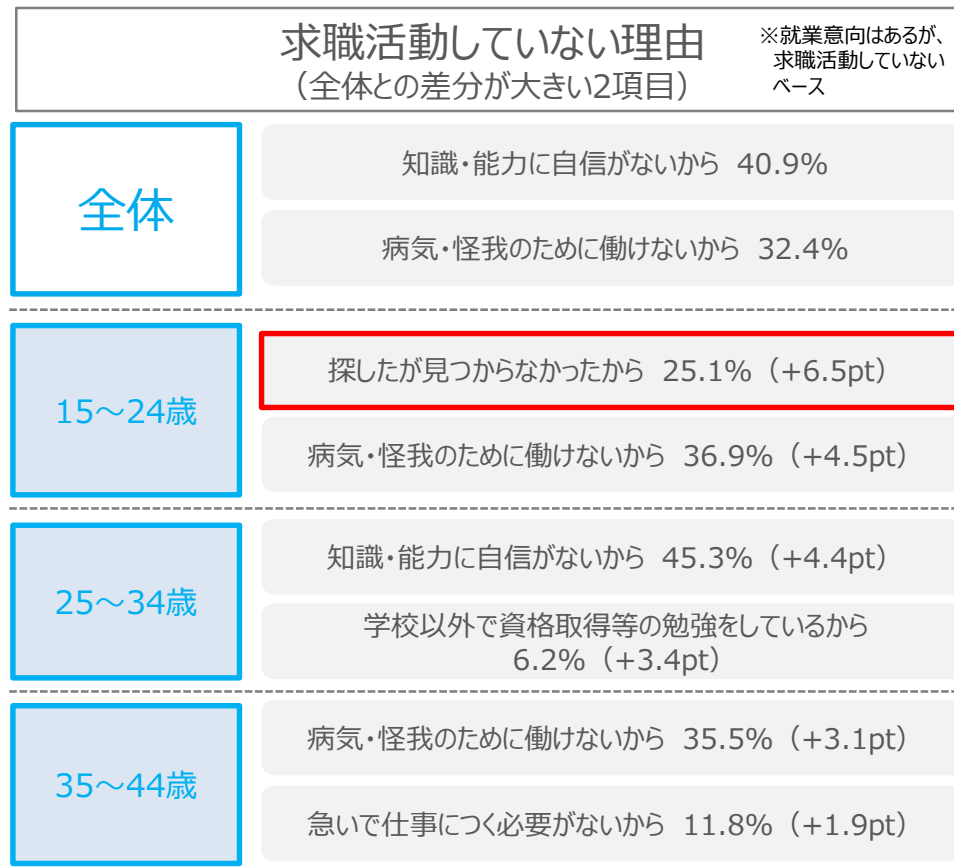
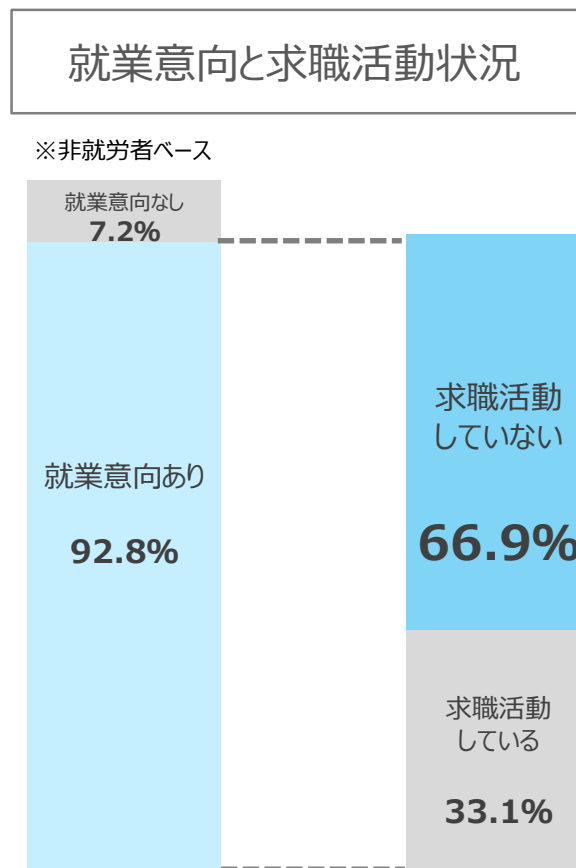
※中央値＝代表値の一つ、データを小さい順に並べたとき中央に位置する値

(定着に向けて) フリーターにとってのやりがい

【働く上でのやりがい】はいずれの層でも「一緒に働く人から感謝の言葉もらったとき」「仲間と楽しく仕事できたとき」が上位2位までに挙げられている。15～24歳で「仲間と楽しく仕事できたとき」が最も高く、25歳以上の年齢層では「一緒に働く人から感謝の言葉もらったとき」が高い。

		n=	やりがい ※上位3項目		
			1	2	3
全体		1,670	一緒に働く人から感謝の言葉もらったとき44.3%	仲間と楽しく仕事できたとき40.8%	仕事の成果を褒められたとき34.8%
年代別	15～24歳	246	仲間と楽しく仕事できたとき43.6%	一緒に働く人から感謝の言葉もらったとき42.8%	自分の成長を感じたとき38.2%
	25～34歳	590	一緒に働く人から感謝の言葉もらったとき46.2%	仲間と楽しく仕事できたとき40.7%	仕事の成果を褒められたとき35.5%
	35～44歳	834	一緒に働く人から感謝の言葉もらったとき43.1%	仲間と楽しく仕事できたとき37.9%	給料が上がったとき35.1%
就労状態別	就労	1,375	一緒に働く人から感謝の言葉もらったとき44.4%	仲間と楽しく仕事できたとき39.8%	仕事の成果を褒められたとき33.6%
	非就労	295	仲間と楽しく仕事できたとき45.5%	一緒に働く人から感謝の言葉もらったとき43.7%	仕事の成果を褒められたとき40.5%
性別	男性	910	一緒に働く人から感謝の言葉もらったとき38.4%	仲間と楽しく仕事できたとき33.8%	自分の成長を感じたとき28.5%
	女性	760	一緒に働く人から感謝の言葉もらったとき49.8%	仲間と楽しく仕事できたとき47.4%	仕事の成果を褒められたとき41.7%

非就労者のうち、「就業意向がある人」は92.8%。そのうち実際に「求職活動をしている人」は33.1%で、6割以上は就業意向があるにも関わらず求職活動をしていない。【就業意向があるが求職活動をしていない理由】は全体では「知識・能力に自信がないから」が最も高く40.9%で、また15～24歳では全体と比較して「探したが見つからなかったから」が高い。



※()内は全体回答との差分

【仕事探し時の絶対条件】は全体では「シフトの融通がきく」「自宅から近いこと」「交通費が支給されること」の順に高い。
 年代別では“15～34歳”では「シフトの融通がきく」、35～44歳では「自宅から近いこと」の割合が最も高い。
 就業状況別では“非就労者”の「未経験でもできる仕事である」の割合が全体と比べて高い。

		仕事探し時の絶対条件 ※上位3項目			
		n=	1	2	3
	全体	1,670	シフトの融通がきく 44.6%	自宅から近いこと 43.2%	交通費が支給されること 39.5%
年代別	15～24歳	246	シフトの融通がきく 42.1%	自宅から近いこと 37.3%	未経験でもできる仕事である 37.0%
	25～34歳	590	シフトの融通がきく 47.8%	自宅から近いこと 43.9%	交通費が支給されること 42.2%
	35～44歳	834	自宅から近いこと 48.5%	シフトの融通がきく 42.6%	交通費が支給されること 40.9%
就労状態別	就労	1,375	シフトの融通がきく 43.3%	自宅から近いこと 41.0%	交通費が支給されること 37.0%
	非就労	295	未経験でもできる仕事である 57.2%	自宅から近いこと 53.1%	交通費が支給されること 51.1%
性別	男性	910	自宅から近いこと 38.2%	シフトの融通がきく 34.4%	未経験でもできる仕事である 31.2%
	女性	760	シフトの融通がきく 54.2%	交通費が支給されること 48.8%	自宅から近いこと 47.8%

「早期離職経験」はいずれの年代でも25%前後となっている。

離職要因は「職場の雰囲気が良くなかった／自分に合わなかった」が全体で44.6%と最も高く、次いで「想定していた仕事内容ではなかった」41.7%。35～44歳では「想定していた仕事内容ではなかった」が最も高い。

		早期離職経験率
全体		25.6
年代別	15～24歳	24.8
	25～34歳	25.5
	35～44歳	26.6
就労状態別	就労	25.8
	非就労	24.8
性別	男性	25.2
	女性	26.0

早期離職要因 ※上位3項目			
n=	1	2	3
436	職場の雰囲気が良くなかった／自分に合わなかった 44.6%	想定していた仕事内容ではなかった 41.7%	想定よりも仕事が見つかった 39.6%
62	職場の雰囲気が良くなかった／自分に合わなかった 45.8%	想定よりも仕事が見つかった 42.5%	想定していた仕事内容ではなかった 42.0%
151	職場の雰囲気が良くなかった／自分に合わなかった 46.3%	想定していた仕事内容ではなかった 39.0%	想定よりも仕事が見つかった 38.1%
223	想定していた仕事内容ではなかった 45.1%	職場の雰囲気が良くなかった／自分に合わなかった 40.7%	想定よりも仕事が見つかった 38.7%
360	職場の雰囲気が良くなかった／自分に合わなかった 44.1%	想定していた仕事内容ではなかった 42.2%	想定よりも仕事が見つかった 39.2%
76	職場の雰囲気が良くなかった／自分に合わなかった 46.8%	上司／同僚など職場の人間関係が合わなかった 45.7%	想定よりも仕事が見つかった 41.3%
240	想定よりも仕事が見つかった 46.5%	想定していた仕事内容ではなかった 42.6%	職場の雰囲気が良くなかった／自分に合わなかった 40.1%
196	職場の雰囲気が良くなかった／自分に合わなかった 48.7%	想定していた仕事内容ではなかった 40.8%	上司／同僚など職場の人間関係が合わなかった 35.0%

正社員意向

【今現在、本来的に希望していた雇用形態】と【今後希望する雇用形態】として「正社員」と回答した人はいずれも4割半ば、「非正規社員」と回答した人は6割弱。

【正社員として働きたい理由】は全体では「固定給が欲しいから」が最も高く78.8%、

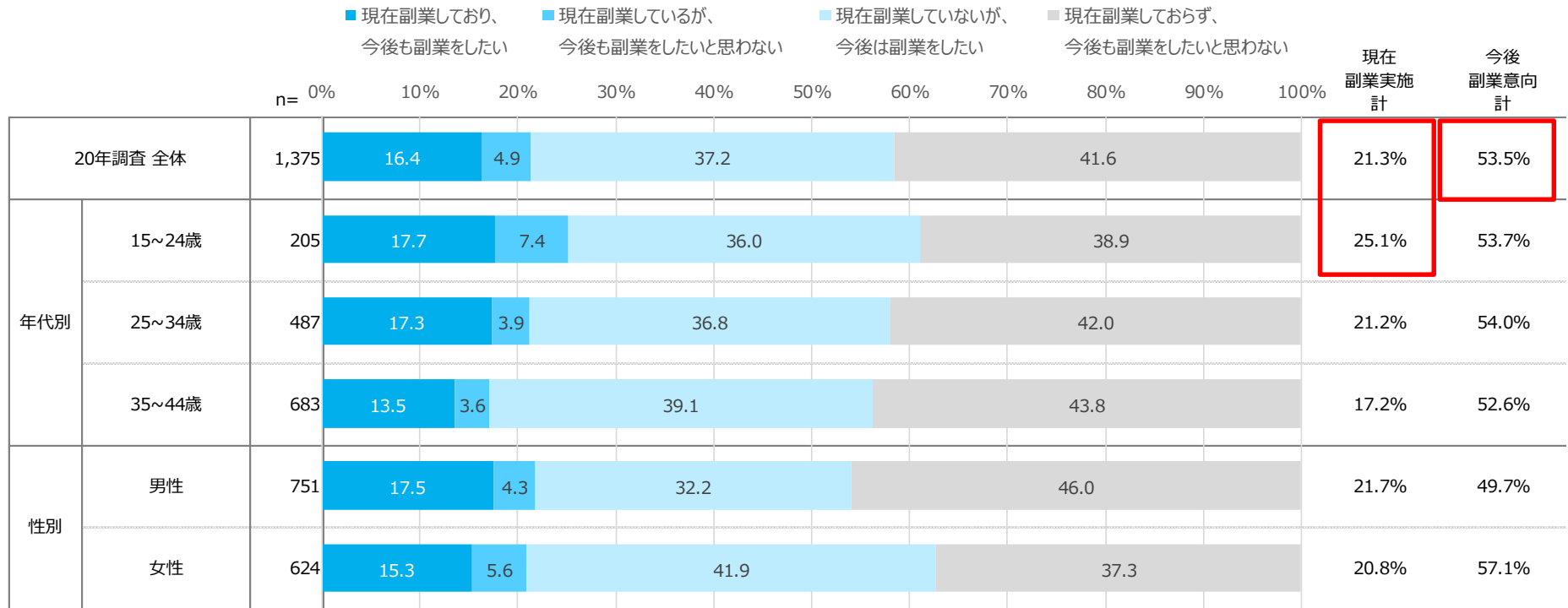
年代別の特徴としては15～24歳は“周囲の目”や“キャリアアップ”、“やりがい”、35～44歳は“定年まで働きたい”や賞与“”を重視する傾向。

		今現在の 正社員意向	今後の 正社員意向	正社員意向ありの理由 (全体との差分が大きい3項目) ※今後正社員意向者ベース	今後の 非正規社員 意向
全体		45.7%	46.7%	固定給が欲しいから 78.8% 福利厚生が充実していることが多いから 67.2% 雇用が安定しているから 59.4%	57.2%
年代別	15～24歳	40.3%	43.0%	周囲の目が気になるから 31.7% (+9.3pt) キャリアアップしやすいから 22.2% (+5.9pt) やりがい・裁量権のある仕事をしたいから 19.4% (+5.5pt)	54.1%
	25～34歳	48.5%	49.0%	福利厚生が充実していることが多いから 69.6% (+2.4pt) 雇用が安定しているから 61.0% (+1.6pt) 周囲の目が気になるから 20.9% (-1.5pt) キャリアアップしやすいから 14.8% (-1.5pt)	58.5%
	35～44歳	47.4%	47.3%	定年まで働きたいから 35.0% (+9.3pt) 賞与が欲しいから 60.5% (+5.5pt) やりがい・裁量権のある仕事をしたいから 12.8% (-1.1pt)	58.5%
就労状況別	就労者	45.0%	47.1%	賞与が欲しいから 57.6% (+2.6pt) 雇用が安定しているから 60.9% (+1.5pt) 固定給が欲しいから 79.4% (+0.6pt) キャリアアップしやすいから 16.9% (+0.6pt)	54.3%
	非就労者	48.8%	44.7%	周囲の目が気になるから 32.8% (10.4pt) やりがい・裁量権のある仕事をしたいから 15.4% (1.5pt) 福利厚生が充実していることが多いから 66.9% (-0.3pt)	70.6%

※()内は全体回答との差分

副業実施率と副業意向

現在アルバイト・パートとして働いている人のうち、副業をしている人の割合は21.3%。年齢層が低いほど副業の実施率は高く15～24歳では25.1%と4人に1人以上が副業を実施している。
 今後副業をしたいと回答した人の割合は53.5%と半数を超えている。



今後身につけたいスキル（自由回答抜粋）

- ◆ 求職活動をしていない／就業意向がない理由に「知識・能力に自信がない」と回答した人に対し、求職活動に自信がもてるようになる知識能力は何かを聴取した。その結果、「対人コミュニケーション」「PCスキル」「資格」「教養、マナー」の意見パターンが見られた。
- ◆ そのほかでは、「自分に自信をもつこと」そのものが身につけたいスキルであるという意見も挙げられていた。

【今後身につけたいスキル（自由回答）】

※ベース：求職活動をしていない／就業意向がない理由に「知識・能力に自信がない」と回答した人

分類	自由回答（抜粋）
対人コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・人とのコミュニケーションスキルがみにつけば、自信がもてそうです。（25-34歳,非就労,男性） ・人と会話をする能力（35-44歳,非就労,男性） ・面接で緊張せず、自然体を出す。（25-34歳,非就労,男性） ・理解力（35-44歳,非就労,男性）
PCスキル	<ul style="list-style-type: none"> ・例えば事務とか、パソコン操作などに自信が有れば、良いとは思う。（35-44歳,非就労,女性） ・パソコンを利用して、Excelなどの事務作業。（25-34歳,非就労,女性） ・WORD・EXCEL・POWER POINTなどの書類作成能力。（35-44歳,非就労,女性） ・エクセル・ワードの基本操作。（25-34歳,非就労,男性） ・IT、プログラミング（35-44歳,非就労,男性）
資格	<ul style="list-style-type: none"> ・資格取得（35-44歳,非就労,男性） ・なにか資格でも身につけられたら（25-34歳,非就労,女性） ・どんな内容のでも。資格や知識があると自信が持てる。（25-34歳,非就労,女性） ・試験に合格して資格を取得出来れば求職活動を行う自身がもてます。（25-34歳,非就労,男性）
教養、マナー	<ul style="list-style-type: none"> ・一般常識、マナー、人との付き合い方（25-34歳,非就労,男性） ・一般的な知識がほしいです。人が知ってて当然なようなことを自分は知らず恥をかってしまいそうで怖いです。（35-44歳,非就労,男性） ・一般的な範囲の知識と能力と人との接し方を身につければ、もしかしたら自信がもてるかもしれません。（25-34歳,非就労,女性） ・社会人に相応しい基礎能力（15-24歳,非就労,男性） ・学歴（35-44歳,非就労,女性）
その他 （抜粋）	<ul style="list-style-type: none"> ・「自信」というもの自体を、能力と考える（25-34歳,非就労,男性） ・自分に自信を持つこと（15-24歳,非就労,女性）

氷河期支援策の認知内容（自由回答抜粋）

- ◆ 支援策として知っているものとして、全体では「公務員採用」を想起する意見が多く挙げられていた。その他では「ハローワークによる支援」「職業訓練」の想起が挙げられている。
- ◆ 対して、活用したことがあるものについては回答が少なく、公務員採用を上げたものは2件にとどまっている。

【氷河期支援策の認知内容（自由回答）】

※ベース：就職氷河期世代への就職支援認知者

知っているもの（就職氷河期世代への就職支援認知者ベース）

分類	自由回答（抜粋）
公務員採用	<ul style="list-style-type: none"> ・官公庁が氷河期世代を採用しようとしていること（35-44歳,就労,男性） ・公務員試験が、就職氷河期世代にも採用枠が広がられたこと。（35-44歳,就労,男性） ・最近、氷河期世代を対象にした地方公務員試験が行われる自治体があるというニュースは見聞きしています。（35-44歳,就労,男性） ・氷河期のみ市役所で採用試験をうけられる（25-34歳,就労,女性）
ハローワークによる支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ハローワークでの仕事斡旋や職業訓練（35-44歳,就労,女性） ・ハローワークの就職氷河期世代専門窓口（25-34歳,就労,男性） ・就職氷河期世代限定ハローワーク（25-34歳,就労,女性）
職業訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・職業訓練所、職業紹介所（35-44歳,非就労,男性） ・職業訓練や資格取得に関わる費用の助成（35-44歳,非就労,男性）

活用したことがあるもの（ベース：35歳以上の就職氷河期世代への就職支援認知者）

ハローワーク（11件）
 就活イベント、セミナー、就活サイト（6件）
 公務員採用（2件） など

求める氷河期支援内容（自由回答抜粋）

- ◆ 給付金やベーシックインカムなどを含めると、金銭的支援が最も多く挙げられていた。ついで、採用支援に関する事、安定雇用に関する要望が多かった。

【求める氷河期支援内容（自由回答）】

※ベース：35歳以上

大分類	小分類	自由回答（抜粋）
金銭的支援・保証	金銭面の支援	就職活動費がもらえること(失業して就職活動もままならないほど生活困窮状態に陥った場合)。(35-44歳,就労,男性)
		援助金…交通費や、スーツ代、履歴書、写真代など (35-44歳,就労,女性)
		食べていく為の資格取得迄の金銭面の支援 (35-44歳,就労,男性)
		バイトの人にもボーナスみたいなかたちで給付金を出すとか、年金、健康保険、介護保険を一定期間安くする。(35-44歳,就労,女性)
		ベーシックインカム (35-44歳,就労,男性)
	賃金アップ	最低賃金を上げて誰でも最低限の生活をするために働ける環境。(35-44歳,非就労,男性)
		パートでも昇給、ボーナス有り (35-44歳,就労,女性)
給与保証	多様な働き方を認め、それに見合った賃金を払ってくれる事 (35-44歳,就労,男性)	
	働いた分はちゃんと給料として、出してくれるといい。残業代無しだから。(35-44歳,非就労,女性)	
年金保証	年金の補助があつたらいいと思います。(35-44歳,非就労,男性)	
採用支援	求人数増加	企業の積極的な採用。(35-44歳,就労,女性)
	未経験採用	未経験、学歴不問、職歴無しでも採用してもらえる (35-44歳,就労,男性)
	学歴・職歴不問の採用	最終学歴が高卒の人でもサポートしてほしい。長期間無職であってもチャンスが欲しい。(35-44歳,非就労,女性)
	年齢制限なし	採用に関して年齢差別をやめるよう指導する仕組み (35-44歳,非就労,男性)
	優先採用	就職氷河期世代優先で就職できる支援。(35-44歳,就労,男性)
安定雇用	正社員採用・登用	アルバイトから正社員への登用制度 (35-44歳,就労,男性)
		非正規雇用者に対する正規雇用へのバックアップ (35-44歳,就労,女性)
		正社員の道を可能な限り示して欲しい。(35-44歳,就労,男性)
	継続雇用	就職できたから安心ではなく、就職して続ける事ができるかどうかの支援 (35-44歳,就労,男性)
仕事紹介	求人情報の充実	求人情報の充実 (35-44歳,就労,男性)
	マッチング支援	個別で職種・業者の適性を診断し、適性にあった方面への就業を斡旋して欲しい。(35-44歳,非就労,男性)
スキルアップ・研修	資格取得・スキルアップ支援	一般教養・基礎学力の教育補助 実地研修を経ての就業制度 (35-44歳,非就労,女性)
		職業訓練や面接対策 (35-44歳,就労,男性)
		体験研修 (35-44歳,就労,女性)
	相談窓口・カウンセリング	正社員への就職相談徹底 (35-44歳,就労,男性)
		メンタル面でカウンセリングできる機会を増やして欲しかった。(35-44歳,就労,男性)
国や公的機関からの就職支援	国・行政からの支援	たくさん人が雇えるように国が優良企業に補助金を出す (35-44歳,非就労,女性)
	公的機関・公務員採用	公的機関の採用促進 (35-44歳,就労,男性)
		地方公務員の登用を増やしてもらう。(35-44歳,就労,男性)

求める氷河期支援内容（自由回答抜粋：印象的な意見）

◆ 正社員意向がある層では実体験に基づくものや、生活の苦しさなどを切実に語っている意見が多く見られる傾向にあった。

【求める氷河期支援内容（自由回答）】

※ベース：35歳以上正社員意向あり

大分類	小分類	自由回答（抜粋）
金銭的支援・保証	税金の減免	離職者や未婚者にかかわらず保険料や税金などの一時的な減免や援助があれば助かる。理由にかかわらずその者が職に就くも給料がほとんどが吸い上げられ生活ができない事が残念である。生活をするうえでさらに仕事をしなくてはならない現状である。（35-44歳,就労,男性）
採用支援	求人数増加	氷河期に苦勞したので、支援の壁も高いと利用する前に諦めてしまう。具体的には思い浮かばないが、とにかく間口が広い支援を望む。（35-44歳,就労,女性）
	優先採用	丁度氷河期世代で、まとも就職できませんでした。40代前後で今更支援されても遅い気がします。支援していただけるのであれば、氷河期世代を積極的に再就職できるように企業に働きかけてもらうくらいでしょうか？これから技術を身に付けても仕事での経験がないこの年代では不採用になってしまうと思います。（35-44歳,就労,女性）
安定雇用	正社員採用・登用	その時期に非正規でしか働けなかった人、そのために今も非正規でしか働けない人は、勤務年数で正規の雇用に変えてほしい。現行の5年以上働くと正規になれるというの、その前に解雇されたり、法を掻い潜って非正規のままではない（35-44歳,就労,女性）
スキルアップ、研修	資格取得・スキルアップ支援	経験が積める機会が少なかったのに、企業は経験ばかりを雇ってしまう。資格も、取るのにはお金がいるからなかなか取得も出来ない。企業がこの支援にまったく積極的ではないこと。特に、岩手（35-44歳,就労,男性）
		職業訓練はあるにはあるが、種類が少なすぎる。一生食べていけるような専門性の高い職業の訓練メニューを増やし、就職に役立つスキルを徹底的に教えてほしい。女性には特に。介護だけでは選択肢がないし、希望もない。（35-44歳,非就労,女性） 学校のようなところで勉強だけして、後は就業先で教えてもらってね、じゃなくて、支援する団体が仕事を請け負って、実務をある程度経験させてもらえると、その先が安心だと思うし、そういう支援制度があれば支援を受けてみようと思うと思う。現状、支援策が、未経験者にはハードルが高すぎる。支援策が一つの障壁になっていると思う。（35-44歳,就労,男性）

2. データ編

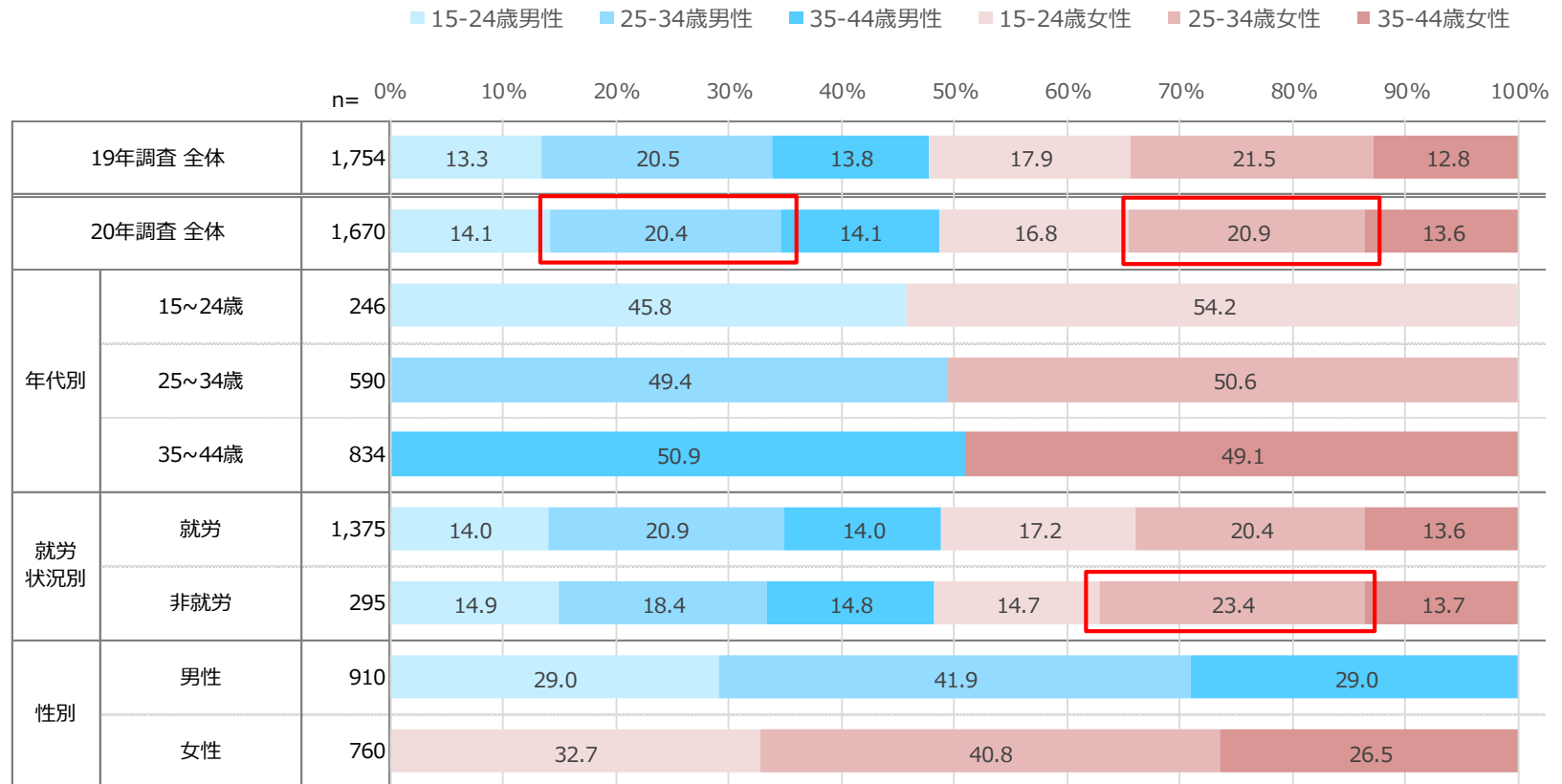
[データ編] 2-1

回答者のプロフィール

性×年齢

- ◆ 全体では、25～34歳の男女比率がいずれも約2割とやや高い。
- ◆ 就労状況別でみると、非就労者で25～34歳女性が2割強とやや高い。

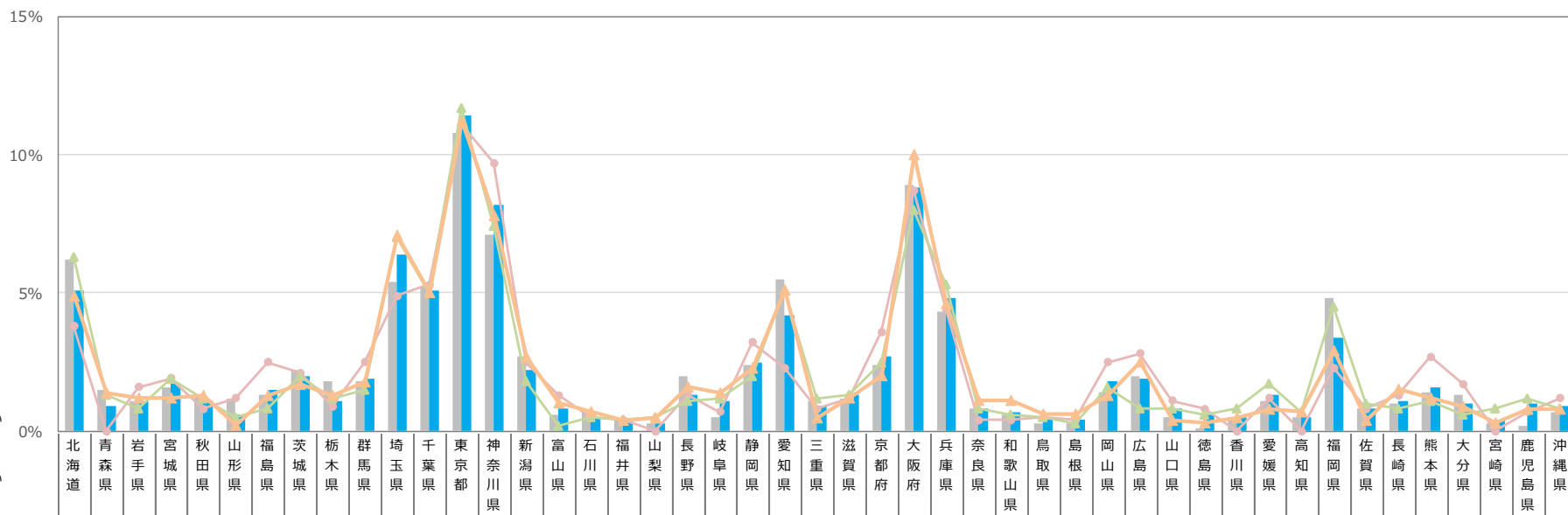
【性年代（単一回答）】
※ベース：有効回答のみ



◆ 年代別で居住地をみると、各都道府県において年代による差はほとんどない。

【居住地（単一回答）】

※ベース：有効回答のみ

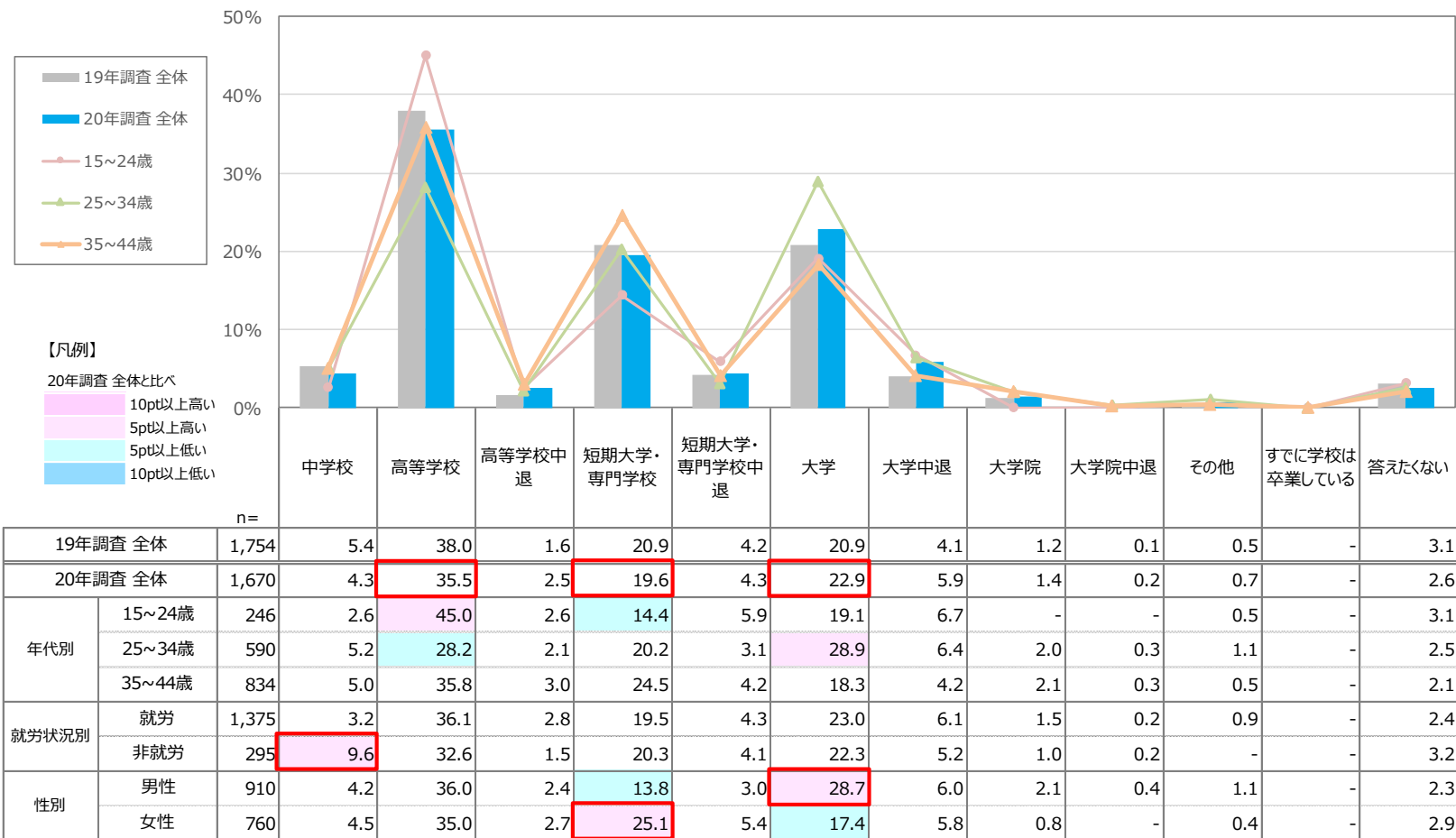


n=		北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	
19年調査 全体	1,754	6.2	1.5	1.1	1.6	1.3	1.2	1.3	2.2	1.8	1.8	5.4	5.2	10.8	7.1	2.7	0.6	0.7	0.4	0.3	2.0	0.5	2.4	5.5	1.1	1.2	2.4	8.9	4.3	0.8	0.6	0.3	0.3	1.4	2.0	0.5	0.1	0.5	1.1	0.5	4.8	0.8	1.0	1.4	1.3	0.3	0.2	0.7	
20年調査 全体	1,670	5.1	0.9	1.1	1.7	1.1	0.6	1.5	2.0	1.1	1.9	6.4	5.1	11.4	8.2	2.2	0.8	0.5	0.4	0.3	1.3	1.1	2.5	4.2	0.9	1.3	2.7	8.8	4.8	0.8	0.7	0.5	0.4	1.8	1.9	0.8	0.6	0.5	1.3	0.5	3.4	0.8	1.1	1.6	1.0	0.4	1.0	0.9	
年代別	15~24歳	246	3.8	-	1.6	1.9	0.8	1.2	2.5	2.1	0.9	2.5	4.9	5.3	11.1	9.7	2.5	1.3	0.5	0.4	-	1.3	0.7	3.2	2.3	0.8	1.2	3.6	8.7	4.4	0.4	0.4	0.5	0.4	2.5	2.8	1.1	0.8	-	1.2	-	2.3	0.8	1.3	2.7	1.7	-	0.7	1.2
	25~34歳	590	6.3	1.3	0.8	1.9	1.2	0.5	0.8	2.0	1.2	1.5	7.0	5.0	11.7	7.4	1.8	0.2	0.5	0.4	0.5	1.1	1.2	2.0	5.1	1.2	1.3	2.5	8.0	5.3	0.8	0.6	0.5	0.3	1.6	0.8	0.8	0.6	0.8	1.7	0.7	4.5	1.0	0.8	1.1	0.6	0.8	1.2	0.8
	35~44歳	834	4.9	1.4	1.2	1.2	1.3	0.2	1.3	1.7	1.3	1.8	7.1	5.0	11.2	7.8	2.7	1.0	0.7	0.4	0.5	1.6	1.4	2.3	5.1	0.5	1.2	2.0	10.0	4.6	1.1	1.1	0.6	0.6	1.3	2.5	0.4	0.3	0.5	0.8	0.7	2.9	0.4	1.5	1.2	0.9	0.3	0.8	0.8
就労状況別	就労	1,375	5.0	0.9	1.0	1.7	1.0	0.8	1.7	1.6	0.8	2.0	6.5	5.5	11.9	8.0	1.6	0.7	0.7	0.5	0.4	0.9	1.0	2.7	4.4	1.0	1.4	2.8	9.2	4.6	0.7	0.8	0.6	0.4	1.9	1.8	0.6	0.6	0.6	1.0	0.5	3.2	0.8	1.2	1.8	0.9	0.3	1.1	1.1
	非就労	295	5.7	1.3	1.5	2.0	1.5	-	0.7	3.6	2.9	1.5	5.9	3.3	9.0	9.4	5.0	1.3	-	-	0.2	3.0	1.9	1.4	3.3	0.3	0.6	2.0	6.8	5.8	0.9	0.2	0.2	0.3	1.3	2.4	1.5	0.6	-	2.6	0.3	3.9	1.0	0.7	0.8	1.5	1.0	0.6	0.2
性別	男性	910	4.9	1.2	0.9	1.2	1.2	0.6	1.7	2.3	1.5	2.1	7.6	5.4	11.8	9.2	2.6	1.0	0.8	0.1	0.3	1.3	0.6	2.4	3.9	0.9	1.3	2.4	8.3	4.5	0.7	0.7	0.7	0.4	1.8	1.7	0.5	0.5	0.6	1.0	0.6	2.9	0.9	1.3	1.2	1.0	0.1	0.6	1.1
	女性	760	5.3	0.7	1.4	2.3	1.1	0.7	1.3	1.7	0.8	1.7	5.2	4.8	11.0	7.3	1.9	0.5	0.3	0.6	0.4	1.3	1.7	2.6	4.6	0.9	1.2	3.0	9.3	5.2	0.8	0.6	0.4	0.5	1.8	2.1	1.1	0.7	0.3	1.5	0.4	3.8	0.7	1.0	2.0	1.1	0.6	1.3	0.7

- ◆ 全体で見ると、「高等学校」が3割台半ばで最も高く、次いで「大学」「短期大学・専門学校」が約2割で続く。
- ◆ 就労状況別で見ると、非就労者で「中学校」が1割と、全体に比べやや高め。
- ◆ 性別で見ると、男性で「大学」、女性で「短期大学・専門学校」が全体よりもやや高め。

【現在所属校／最終学歴：最終学歴（単一回答）】

※ベース：有効回答のみ



(%)

[データ編] 2-2

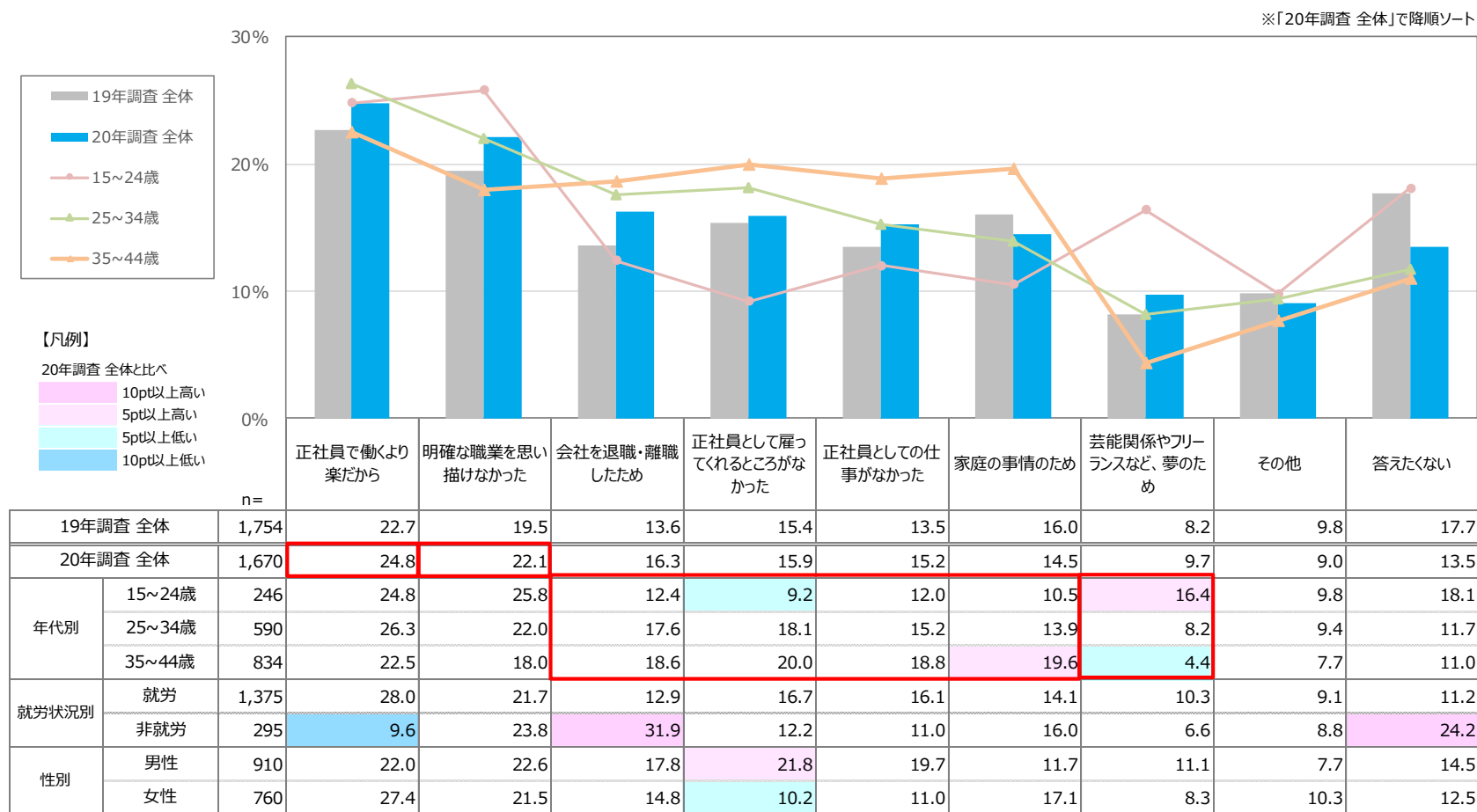
フリーターの実態

フリーター（非就労者は無職）になったきっかけ

- ◆ フリーターになったきっかけを全体で見ると、「正社員で働くより楽だから」「明確な職業を思い描けなかった」が2割強で特に高い。
- ◆ 年代別で見ると、「会社を退職・離職したため」「正社員として雇って欲しかったところがなかった」「正社員としての仕事があった」「家庭の事情のため」など『環境要因』は高年層ほど比率が高まる。一方、「芸能関係やフリーランスなど、夢のため」といった『動機付け要因』は若年層ほど比率が高まる。

【フリーター（非就労者は無職）になったきっかけ（複数回答）】

※ベース：有効回答のみ

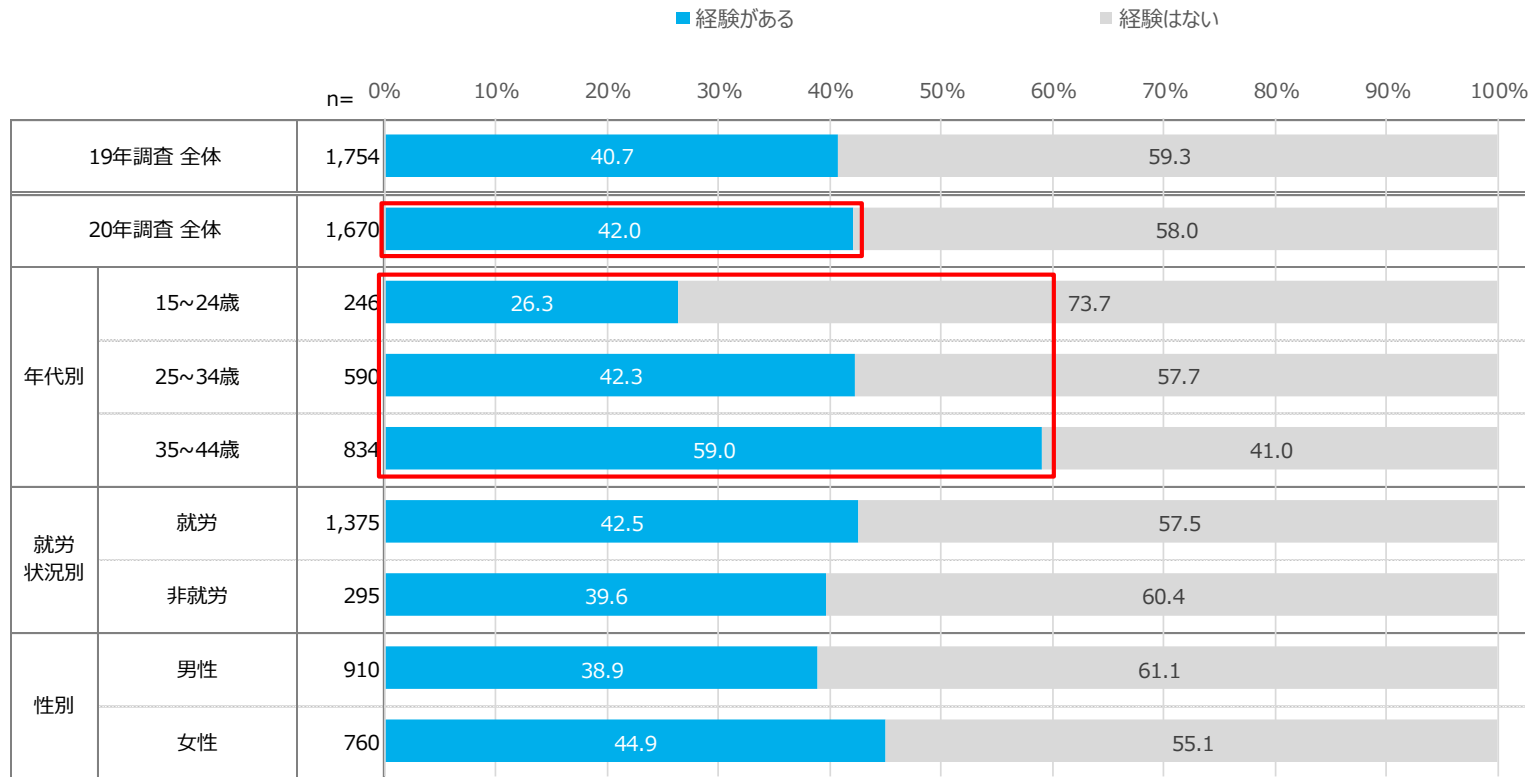


(%)

- ◆ 全体では、正社員経験率は約4割。
- ◆ 高年層ほど正社員経験率が上昇。

【正社員経験（単一回答）】

※ベース：有効回答のみ

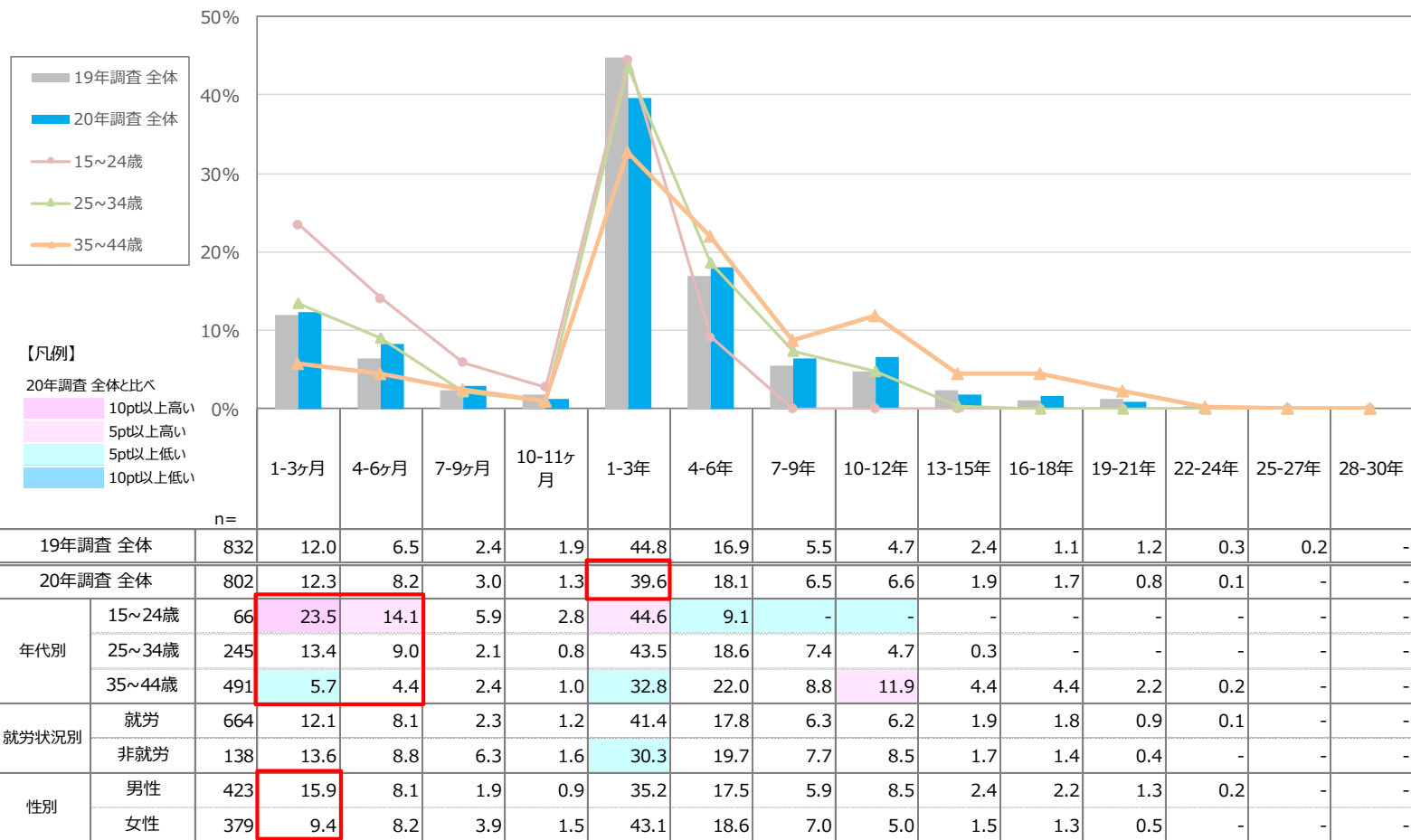


正社員経験期間

- ◆ 全体で正社員経験期間をみると、「1-3年」が約4割でボリュームゾーン。
- ◆ 年代別でみると、「1-3ヶ月」「4-6ヶ月」は若年層ほど比率が高まる。
- ◆ 性別でみると、「1-3ヶ月」は女性よりも男性のほうが比率が高い。

【正社員経験期間（数値回答）】

※ベース：正社員として働いた経験のある人



(%)

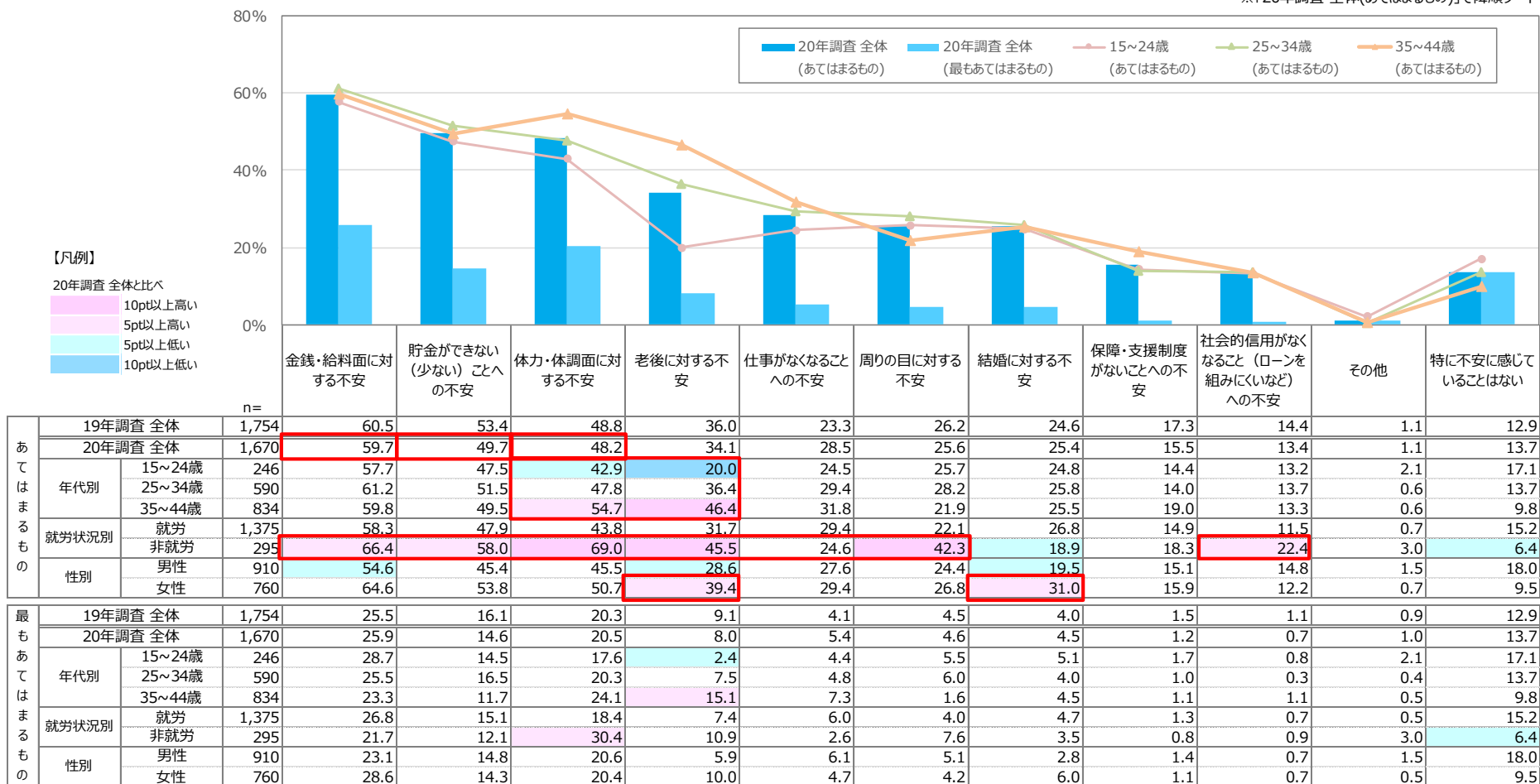
不安なこと

- ◆ 全体で【不安内容：あてはまるもの】をみると、「金銭・給料面に対する不安」「貯金ができない（少ない）ことへの不安」「体力・体調面に対する不安」が5～6割と特に高い。
- ◆ 年代別でみると、「体力・体調面に対する不安」「老後に対する不安」は高年層ほど比率が高まる。
- ◆ 就労状況別でみると、非就労者は多くの項目で勤労者よりも不安度が高い。
- ◆ 性別でみると、女性で「老後に対する不安」「結婚に対する不安」など、『今後のライフスタイルへの不安』が強い。

【不安内容：あてはまるものすべて（複数回答）／最もあてはまるもの（単一回答）】

※ベース：有効回答のみ

※「20年調査 全体(あてはまるもの)」で降順ソート

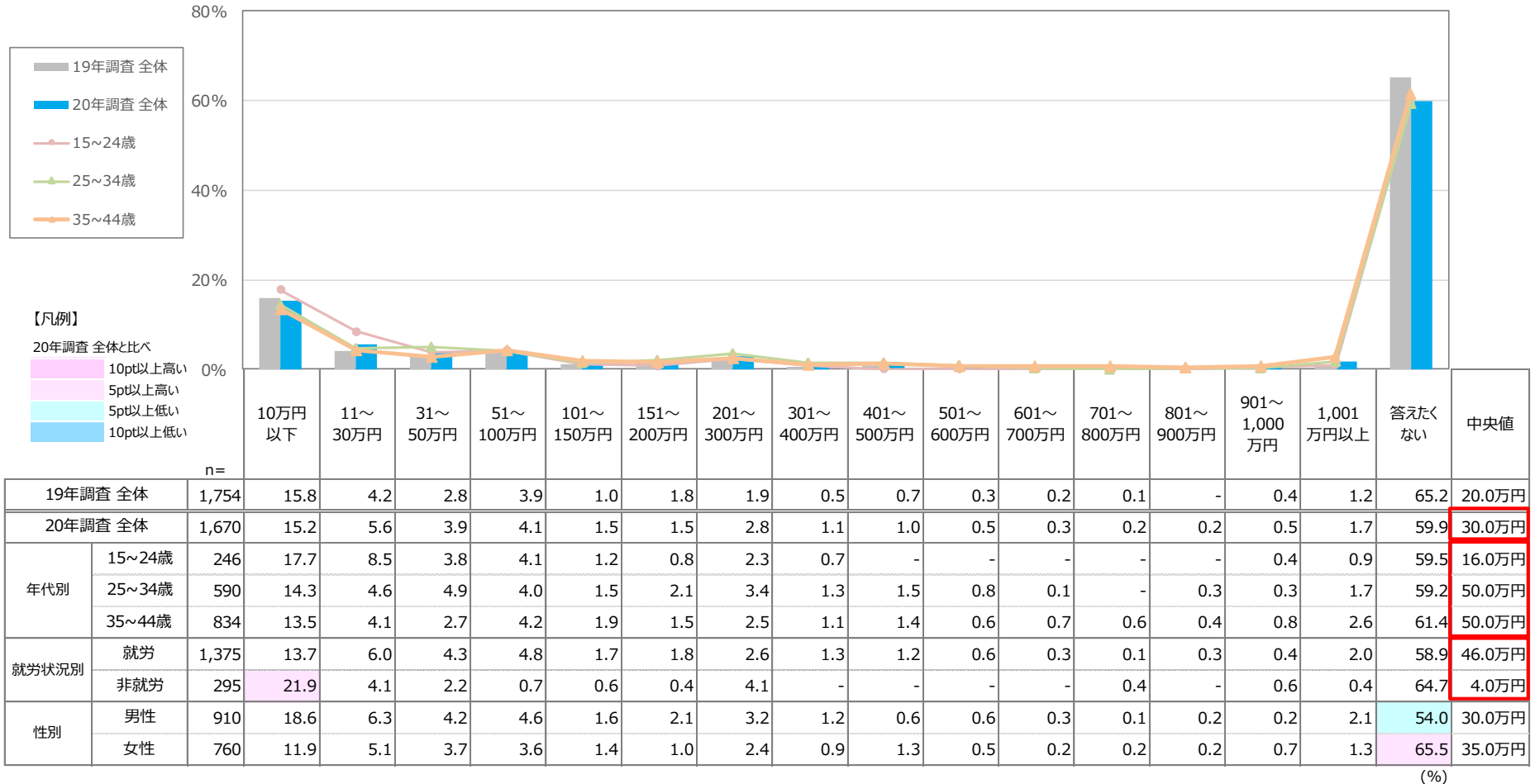


貯蓄額

- ◆ 全体では、貯蓄額の中央値が「30万円」。
- ◆ 年代別で中央値をみると、15～24歳で「16万円」、25～34歳・35～44歳で「50万円」と大きな差がある。
- ◆ 就労状況別で中央値をみると、就労者が「46万円」であるのに対し、非就労者では「4万円」と差が大きい。

【貯蓄額（数値回答）】

※ベース：有効回答のみ



※中央値 = 代表値の一つ、データを小さい順に並べたとき中央に位置する値

[データ編] 2-3

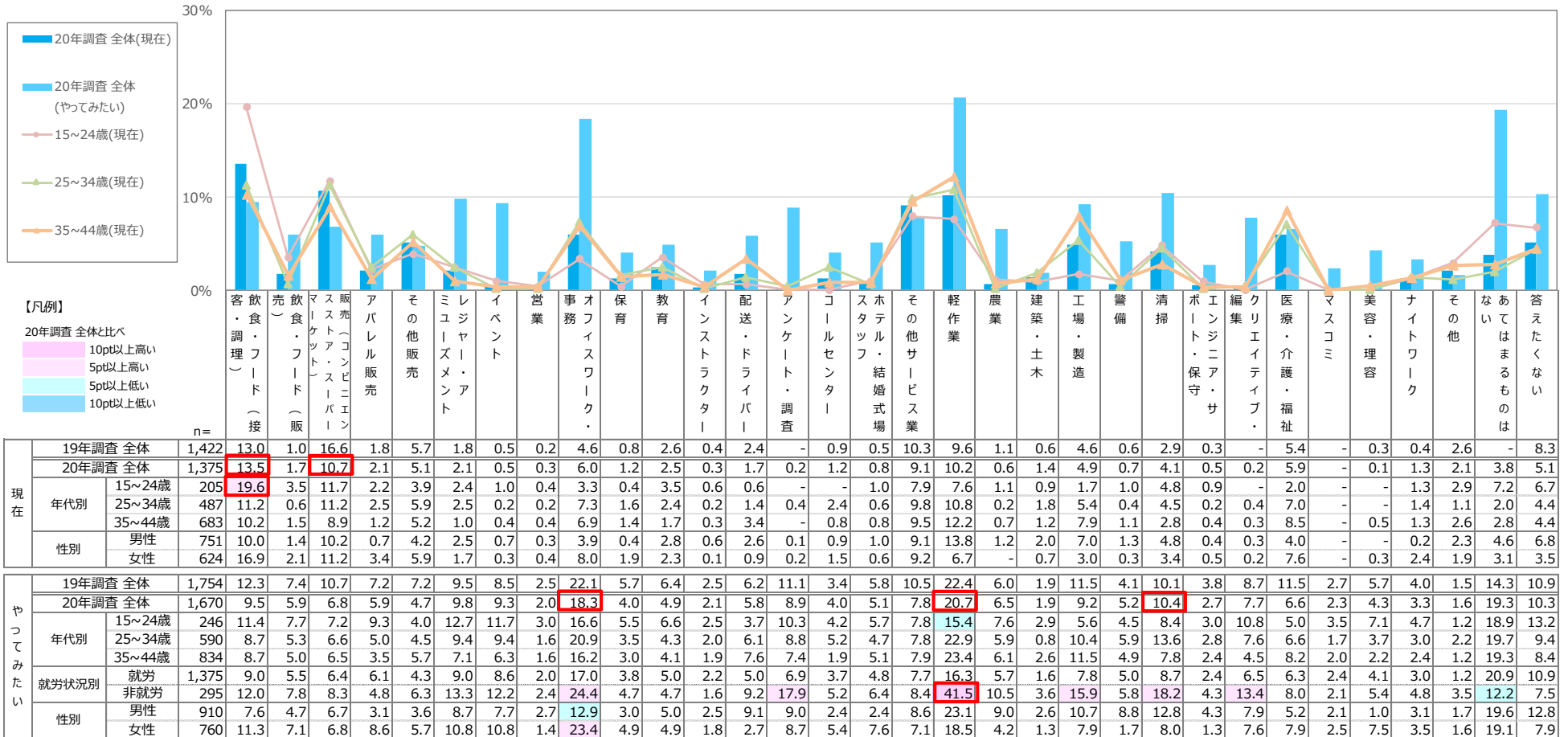
就労実態

職種（現在⇔興味）

- ◆ 現在の職種を全体で見ると、「飲食・フード（接客・調理）」13.5%、「販売（コンビニエンスストア・スーパーマーケット）」10.7%が1割台で特に高い。
- ◆ 年代別で見ると、15～24歳で「飲食・フード（接客・調理）」が全体よりも高め。
- ◆ やってみたい職種を全体で見ると、「軽作業」20.7%、「オフィスワーク・事務」18.3%、「清掃」10.4%と特に高い。
- ◆ 就労状況別で見ると、非就労者で「軽作業」が41.5%と特徴的に高い。

【職種：現在の職種（単一回答）／ やってみたい職種（複数回答）】

※ベース：現在の職種_現在の職業がパート・アルバイト／ やってみたい職種_有効回答のみ

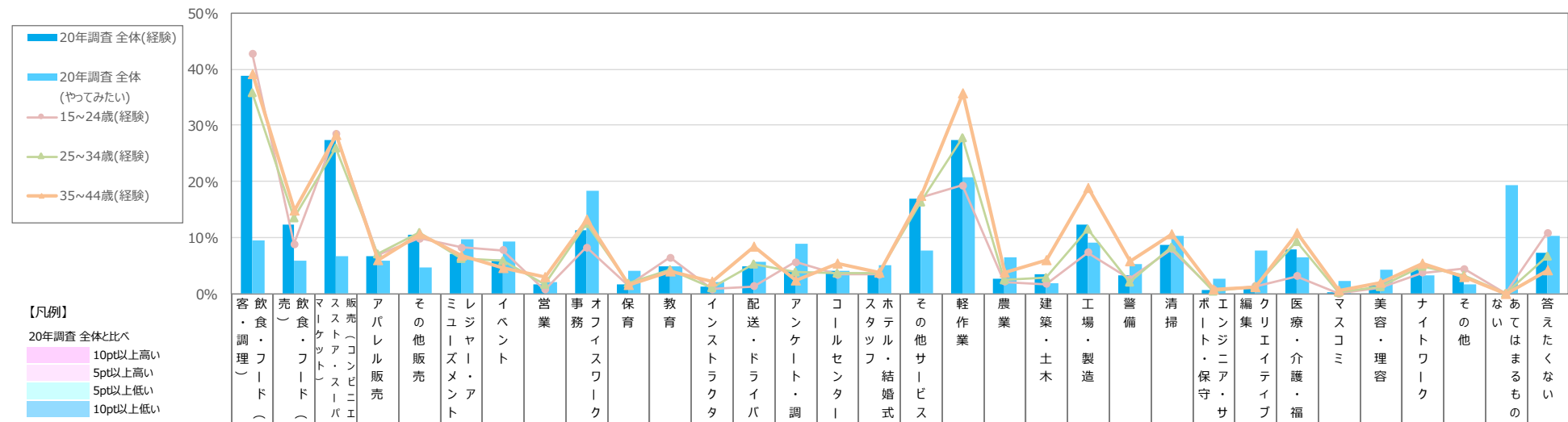


職種（経験⇔興味）

- ◆ 全体で経験のある職種を見ると、「飲食・フード（接客・調理）」「販売（コンビニエンスストア・スーパーマーケット）」「軽作業」が約3〜4割と特に高い。
- ◆ 年代別で見ると、高年層ほど「軽作業」と「工場・製造」の比率が高まる。
- ◆ 性別で見ると「飲食・フード（接客・調理）」は女性で、「軽作業」は男性で比率が全体よりも高め。

【職種：今まで経験のある職種／やってみたい職種（複数回答）】

※ベース：有効回答のみ



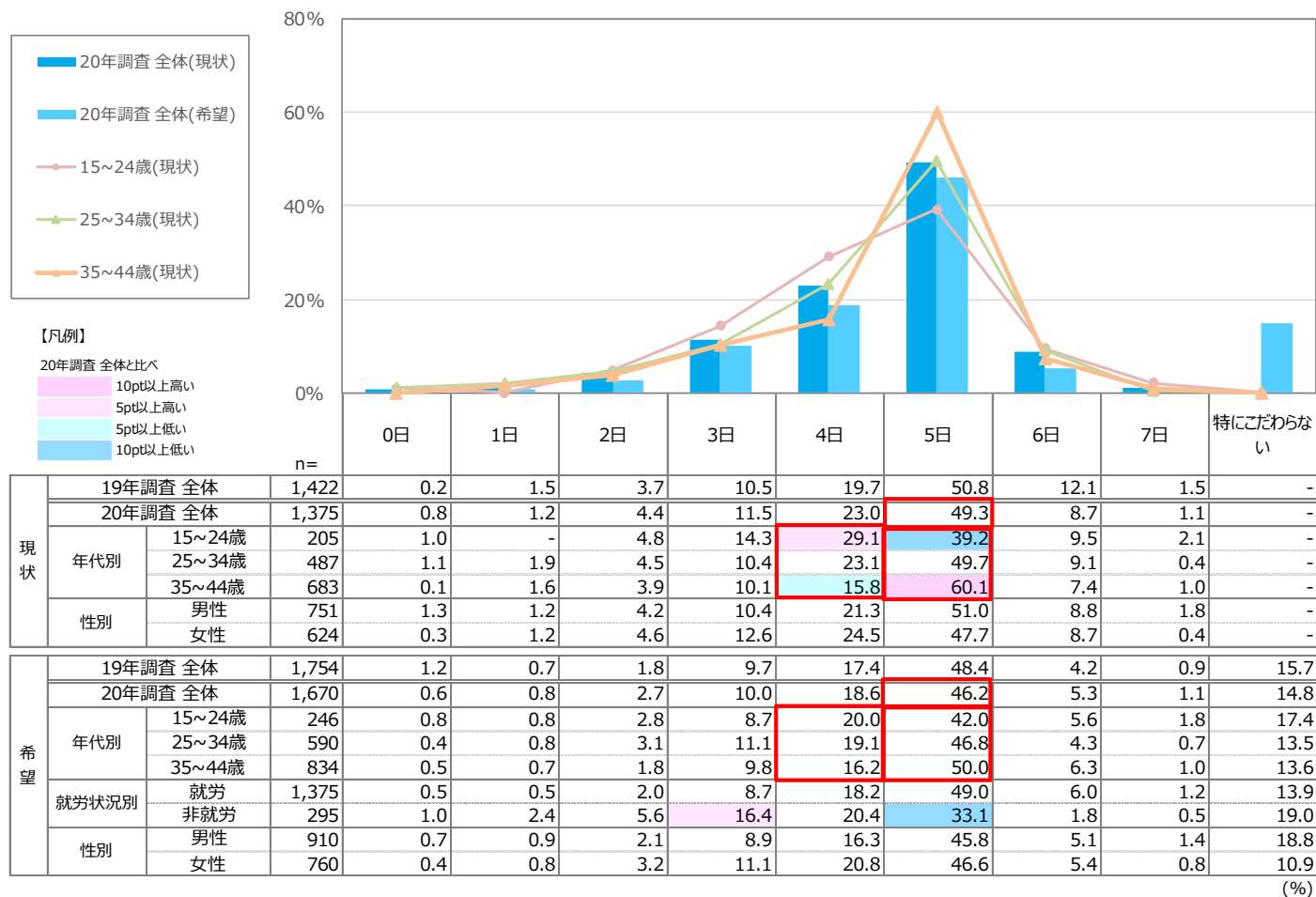
経験	19年調査 全体	20年調査 全体																																				
		客・食・調理	飲食・フード	販売	飲食・フード	販売	コンビニエンスストア・スーパーマーケット	アパレル販売	その他販売	ミューズメント	レジャー・イベント	営業	事務	オフィスワーク	保育	教育	インストラクター	配達・ドライバー	アンケート・調査	コールセンター	ホテル・結婚式場	その他サービス業	軽作業	農業	建築・土木	工場・製造	警備	清掃	ポイント・保守	エンジニア・サ	編集	クリエイティブ	医療・介護・福祉	マスコミ	美容・理容	ナイトワーク	その他	ない
	1,754	32.4	11.6	25.2	6.0	10.1	5.2	4.6	4.5	12.8	1.7	4.7	0.9	5.4	5.6	4.2	3.7	13.4	21.6	2.8	3.4	16.2	2.8	8.2	2.0	1.1	8.9	0.8	2.1	4.3	2.2	6.2	7.5					
	1,670	38.9	12.4	27.4	6.8	10.5	7.1	6.2	1.7	11.4	1.7	4.9	1.3	4.9	4.0	4.0	3.6	16.9	27.3	2.7	3.4	12.4	3.3	8.8	0.6	1.2	7.9	0.2	1.4	4.7	3.5	-	7.3					
年代別	15~24歳	246	42.8	8.9	28.5	6.9	9.9	8.3	0.7	8.3	1.5	6.5	0.8	1.3	5.6	3.4	3.4	17.1	19.3	2.1	1.7	7.4	2.6	8.0	0.7	1.3	3.1	-	1.1	3.7	4.4	-	10.9					
	25~34歳	590	35.8	13.5	26.0	7.2	10.9	6.4	6.0	1.6	12.5	1.9	4.3	1.1	5.3	3.8	3.6	3.6	16.3	27.7	2.4	2.9	11.6	2.1	8.3	0.4	1.2	9.4	0.3	1.2	4.9	3.2	-	6.8				
	35~44歳	834	39.2	14.8	28.2	6.1	10.6	6.8	4.6	2.9	13.3	1.6	3.9	2.1	8.4	2.4	5.4	3.7	17.5	35.7	3.8	6.0	18.9	5.7	10.6	0.8	1.2	10.9	0.5	2.0	5.4	2.9	-	4.2				
	就労状況別	就労	1,375	40.6	12.9	27.8	7.0	10.4	7.0	6.0	2.0	12.2	1.8	5.3	1.4	5.1	4.0	4.0	3.7	18.2	28.0	2.8	3.3	12.6	3.4	9.0	0.7	1.1	8.5	0.3	1.4	5.1	3.2	-	6.2			
	非就労	295	31.2	10.3	25.6	6.1	10.8	7.4	7.0	0.2	7.5	1.3	3.0	0.9	3.9	3.9	3.9	3.0	10.5	24.3	2.4	3.7	11.4	2.5	8.0	0.3	2.0	4.8	0.2	1.2	2.8	5.0	-	12.9				
性別	男性	910	29.6	8.7	24.3	2.6	8.8	6.9	5.7	1.7	8.5	0.4	4.8	1.5	8.0	3.9	1.7	2.1	16.9	34.2	3.5	5.9	15.3	5.8	11.8	0.7	1.5	4.5	0.4	0.2	1.8	3.0	-	10.0				
	女性	760	47.8	15.9	30.4	10.8	12.1	7.3	6.6	1.7	14.2	2.9	4.9	1.1	2.0	4.1	6.2	4.9	16.9	20.9	1.9	1.0	9.6	0.8	6.0	0.5	1.0	11.1	0.1	2.4	7.4	4.0	-	4.8				
やってみたい	19年調査 全体	1,754	12.3	7.4	10.7	7.2	7.2	9.5	8.5	2.5	22.1	5.7	6.4	2.5	6.2	11.1	3.4	5.8	10.5	22.4	6.0	1.9	11.5	4.1	10.1	3.8	8.7	11.5	2.7	5.7	4.0	1.5	14.3	10.9				
	20年調査 全体	1,670	9.5	5.9	6.8	5.9	4.7	9.8	9.3	2.0	18.3	4.0	4.9	2.1	5.8	8.9	4.0	5.1	7.8	20.7	6.5	1.9	9.2	5.2	10.4	2.7	7.7	6.6	2.3	4.3	3.3	1.6	19.3	10.3				
	年代別	15~24歳	246	11.4	7.7	7.2	9.3	4.0	12.7	11.7	3.0	16.6	5.5	6.6	2.5	3.7	10.3	4.2	5.7	7.8	15.4	7.6	2.9	5.6	4.5	8.4	3.0	10.8	5.0	3.5	7.1	4.7	1.2	18.9	13.2			
		25~34歳	590	8.7	5.3	6.6	5.0	4.5	9.4	11.4	1.6	20.9	3.5	4.3	2.0	6.1	8.8	5.2	4.7	7.8	22.9	5.9	0.8	10.4	5.9	13.6	2.8	7.6	6.6	1.7	3.7	3.0	2.2	19.7	9.4			
		35~44歳	834	8.7	5.0	6.5	3.5	5.7	7.1	6.3	1.6	16.2	3.0	4.1	1.9	7.6	7.4	1.9	5.1	7.9	23.4	6.1	2.6	11.5	4.9	7.8	2.4	4.5	8.2	2.0	2.2	2.4	1.2	19.3	8.4			
	就労状況別	就労	1,375	9.0	5.5	6.4	6.1	4.3	9.0	8.6	2.0	17.0	3.8	5.0	2.2	5.0	6.9	3.7	4.8	7.7	16.3	5.7	1.6	7.8	5.0	8.7	2.4	6.5	6.3	2.4	4.1	3.0	1.2	20.9	10.9			
		非就労	295	12.0	7.8	8.3	4.8	6.3	13.3	12.2	2.4	24.4	4.7	4.7	1.6	9.2	17.9	5.2	6.4	8.4	41.5	10.5	3.6	15.9	5.8	18.2	4.3	13.4	8.0	2.1	5.4	4.8	3.5	12.2	7.5			
	性別	男性	910	7.6	4.7	6.7	3.1	3.6	8.7	7.7	2.7	12.9	3.0	5.0	2.5	9.1	9.0	2.4	2.4	8.6	23.1	9.0	2.6	10.7	8.8	12.8	4.3	7.9	5.2	2.1	1.0	3.1	1.7	19.6	12.8			
女性		760	11.3	7.1	6.8	8.6	5.7	10.8	10.8	1.4	23.4	4.9	4.9	1.8	2.7	8.7	5.4	7.6	7.1	18.5	4.2	1.3	7.9	1.7	8.0	1.3	7.6	7.9	2.5	7.5	3.5	1.6	19.1	7.9				

1週間あたりの勤務日数（現状⇔希望）

- ◆ 全体で【現状の勤務日数】【希望の勤務日数】はいずれも「5日」が約5割と最も高い。
- ◆ 年代別でみると、【現状の勤務日数】【希望の勤務日数】はいずれも「5日」は高年層ほど、「4日」は若年層ほど比率が高まる傾向。

【勤務日数：1週間あたりのパート・アルバイト日数／希望する1週間あたりのパート・アルバイト日数（単一回答）】

※ベース：1週間あたりのパート・アルバイト日数_現在の職業がパート・アルバイト／希望する1週間あたりのパート・アルバイト日数_有効回答のみ

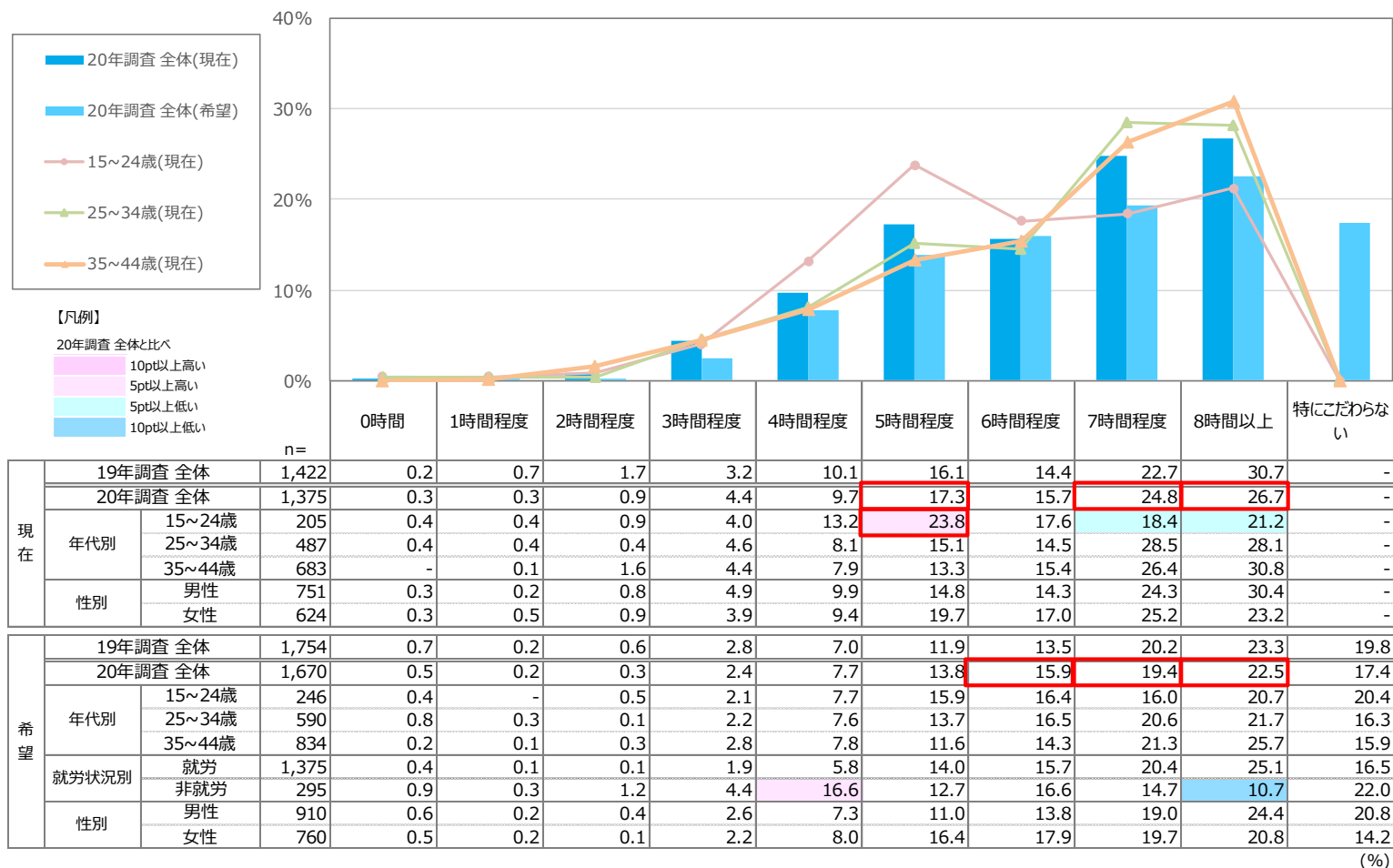


1日あたりの勤務時間（現在⇔希望）

- ◆ 全体で【現在の勤務時間】をみると、「8時間以上」が最も高く26.7%、次いで「7時間程度」が24.8%、「5時間程度」が17.3%。
- ◆ 年代別でみると、15～24歳で「5時間程度」が全体よりもやや高め。
- ◆ 全体で【希望の勤務時間】をみると、「8時間以上」が最も高く22.5%、次いで「7時間程度」が19.4%、「6時間程度」が15.9%。

【勤務時間：1日あたりの勤務時間／希望する1日あたりの勤務時間（単一回答）】

※ベース：1日あたりの勤務時間_現在の職業がパート・アルバイト／希望する1日あたりの勤務時間_有効回答のみ



通勤時間（現在⇔希望）

◆ 全体では、【現在の通勤時間】、【希望している通勤時間】はいずれも「自宅から30分以内」が最多。

【通勤時間：自宅からパート・アルバイト先への通勤時間／希望する自宅からパート・アルバイト先への通勤時間（単一回答）】

※ベース：自宅からパート・アルバイト先への通勤時間_現在の職業がパート・アルバイト／希望する自宅からパート・アルバイト先への通勤時間_有効回答のみ

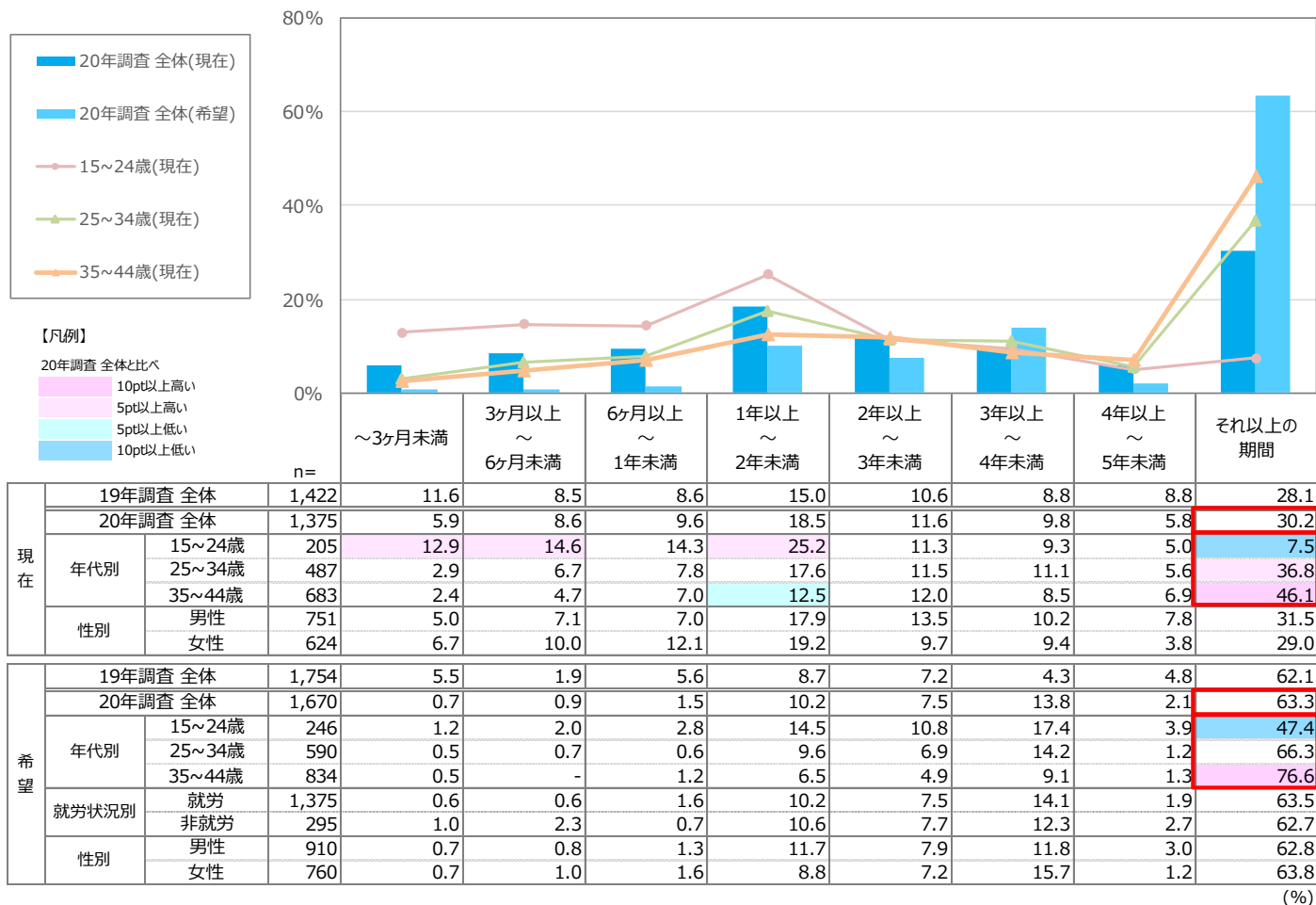


勤続期間（現在⇔希望）

- ◆ 【現在の勤続期間】、【希望している勤続期間】はいずれも「それ以上の期間（=5年以上）」が最も高く、【現在】では30.2%、【希望】では63.3%。
- ◆ 年代別でみると、【現在の勤続期間】、【希望している勤続期間】のいずれも、「それ以上の期間（=5年以上）」は高年層ほど比率が高まる。

【勤務期間：現在のパート・アルバイト先の勤務期間／理想の勤務期間（数値回答）】

※ベース：現在のパート・アルバイト先の勤務期間_現在の職業がパート・アルバイト／理想の勤務期間_有効回答のみ

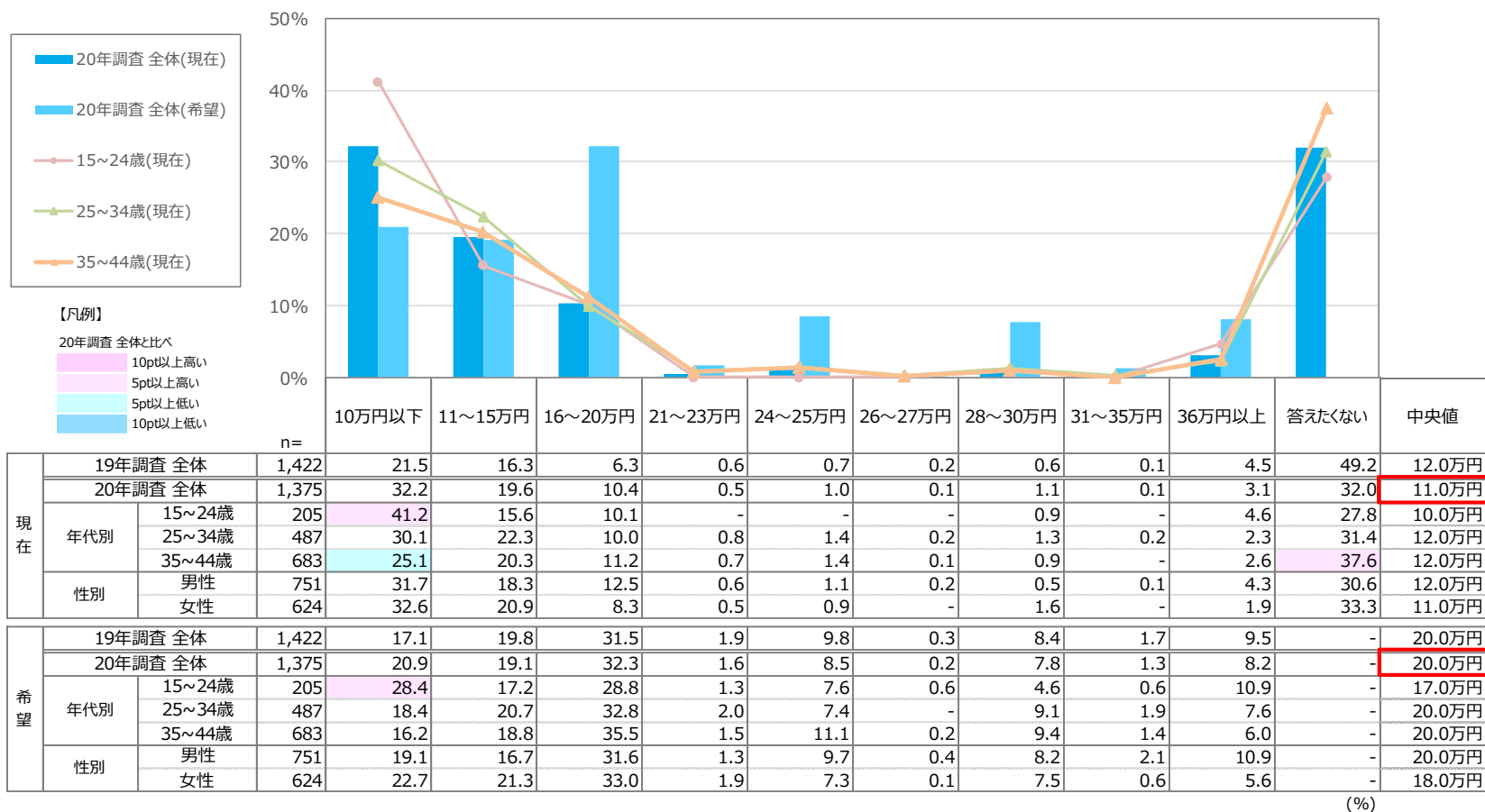


平均月収/希望月収

◆ 全体では、【平均月収（中央値）】は11万円、【希望月収（中央値）】は20万円。

【平均月収/希望月収（数値回答）】

※ベース：現在の職業がパート・アルバイト

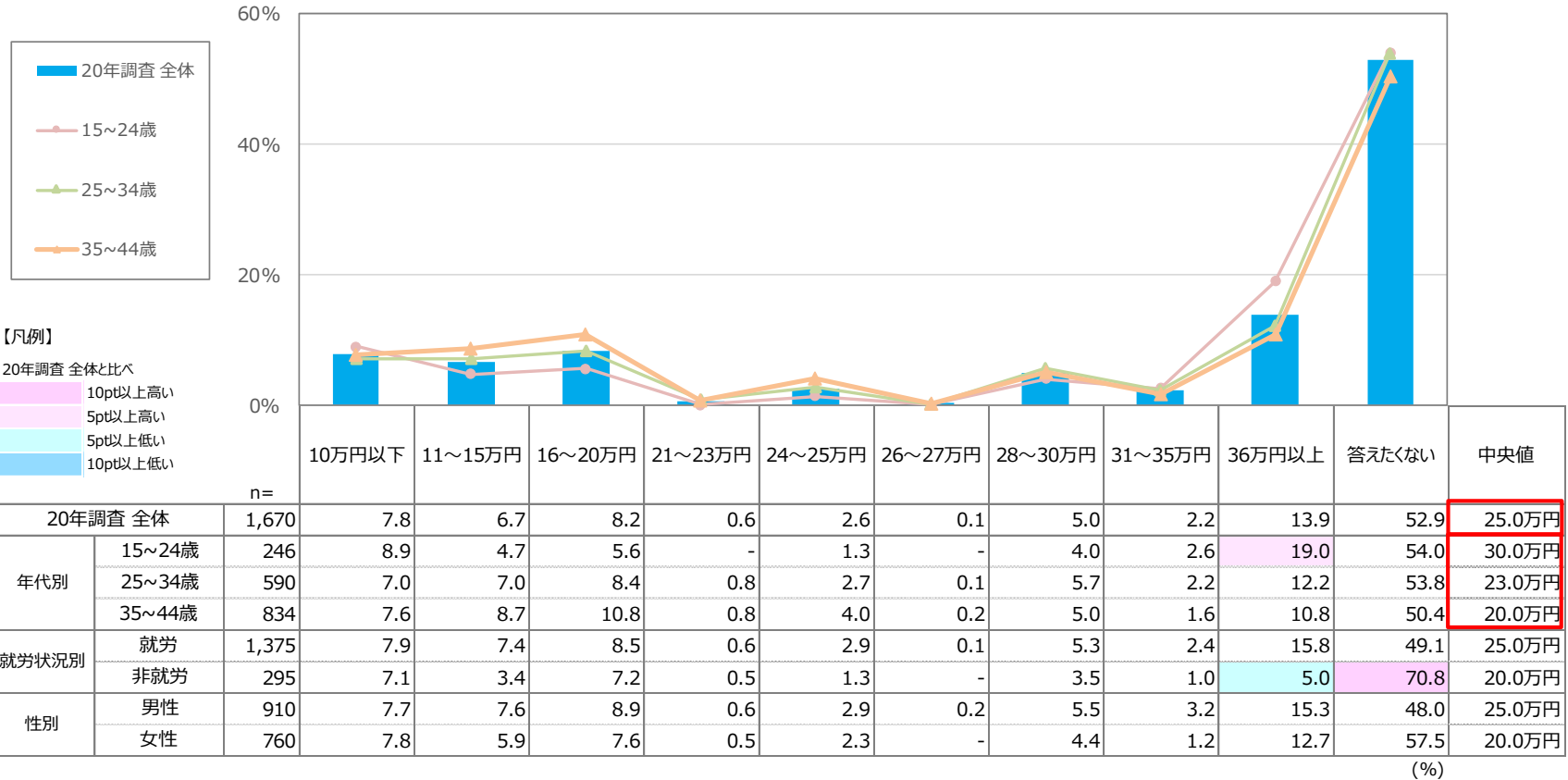


世帯月収

- ◆ 全体では、【世帯月収（中央値）】は25万円。
- ◆ 年代別で中央値をみると、若年層ほど高まる。

【世帯月収（数値回答）】

※ベース：有効回答のみ



[データ編] 2-4

就労意識

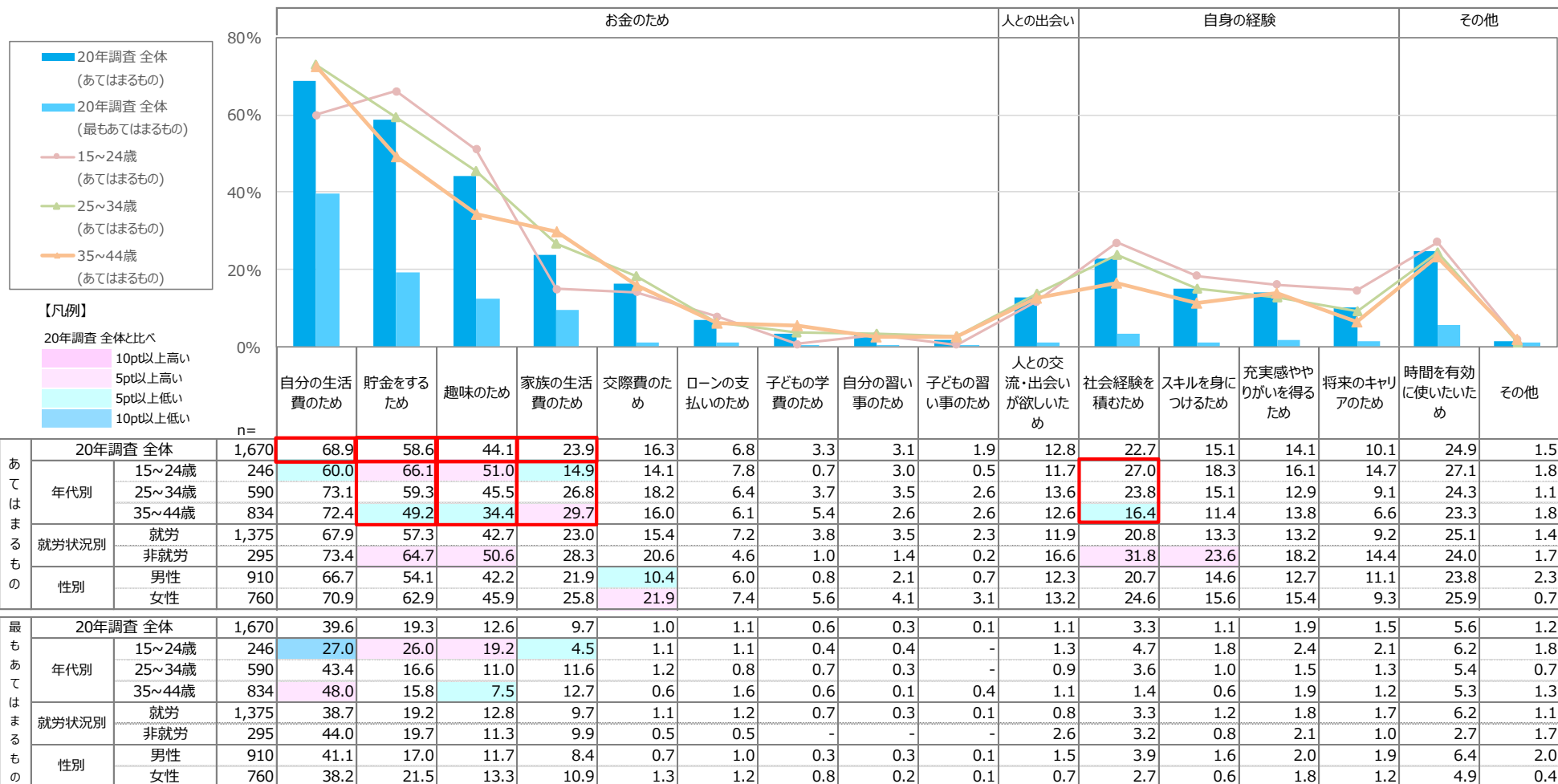
アルバイト（就労）の目的

- ◆ 全体で【あてはまるもの】をみると、「自分の生活費のため」68.9%、「貯金をするため」58.6%、「趣味のため」44.1%、「家族の生活費のため」23.9%など、『お金のため』に関するものが主となっている。
- ◆ 年代別で見ると、「貯金をするため」「趣味のため」「社会経験を積むため」などは若年層ほど、「家族の生活費のため」は高年層ほど比率が高まる。

【アルバイト（就労）の目的：あてはまるものすべて（複数回答）／最もあてはまるもの（単一回答）】

※ベース：有効回答のみ

※各カテゴリ内について「20年調査 全体(あてはまるもの)」で降順ソート

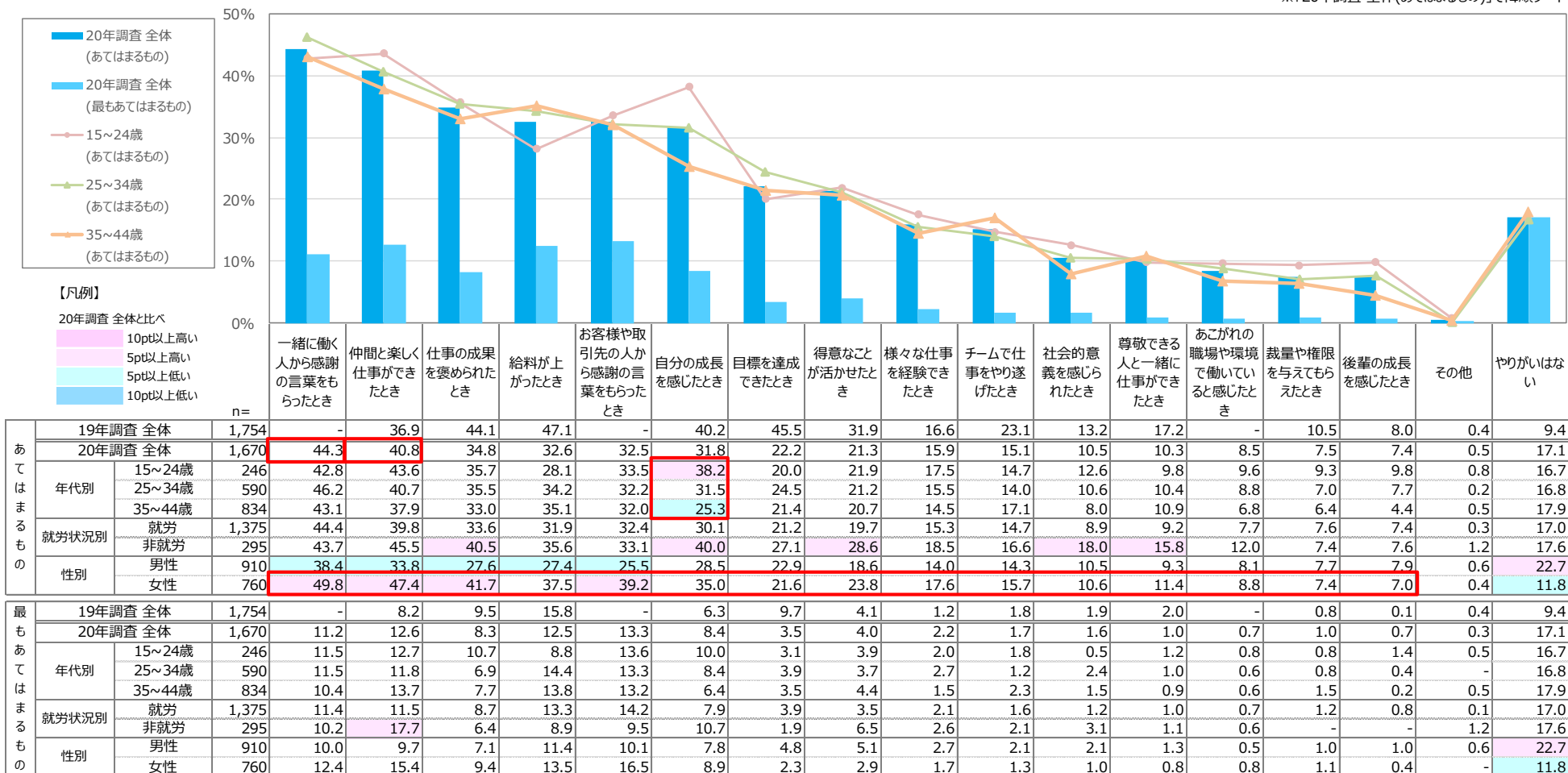


- ◆ 全体で【やりがいとしてあてはまるもの】をみると、「一緒に働く人から感謝の言葉もらったとき」44.3%、「仲間と楽しく仕事できたとき」40.8%が特に高い。
- ◆ 年代別でみると、「自分の成長を感じたとき」は若年層ほど比率が高まる。
- ◆ 性別でみると、多くの項目において女性が男性を上回る。

【やりがい：あてはまるものすべて（複数回答）／最もあてはまるもの（単一回答）】

※ベース：有効回答のみ

※「20年調査 全体(あてはまるもの)」で降順ソート



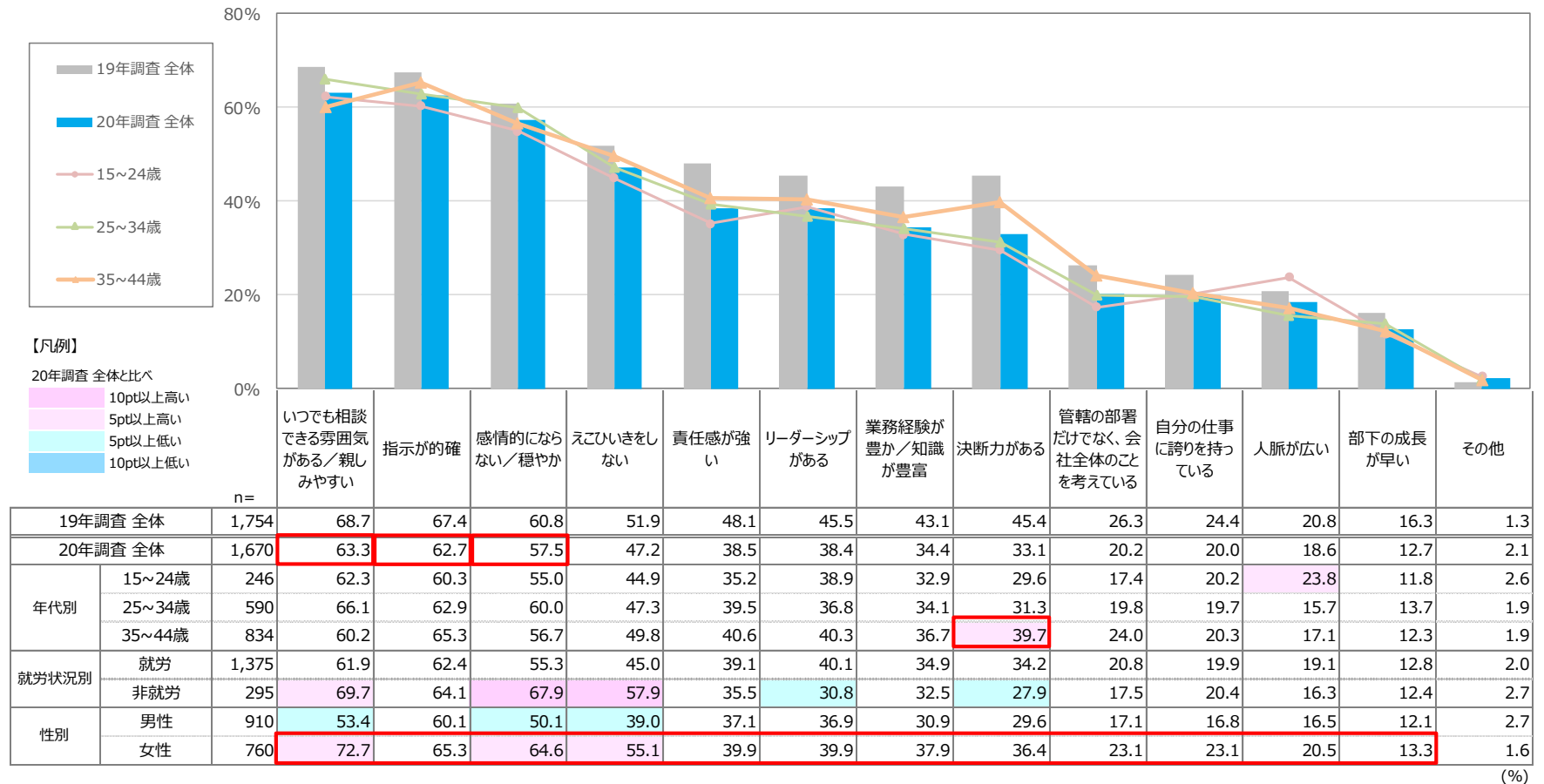
理想の上司像

- ◆ 全体では、「いつでも相談できる雰囲気がある／親しみやすい」63.3%、「指示が的確」62.7%、「感情的にならない／穏やか」57.5%が特に高い。
- ◆ 年代別で見ると、35～44歳で「決断力がある」が全体よりも高め。
- ◆ 性別で見ると、項目全般に女性が男性を上回る。

【理想の上司像（複数回答）】

※ベース：有効回答のみ

※「20年調査 全体」で降順ソート



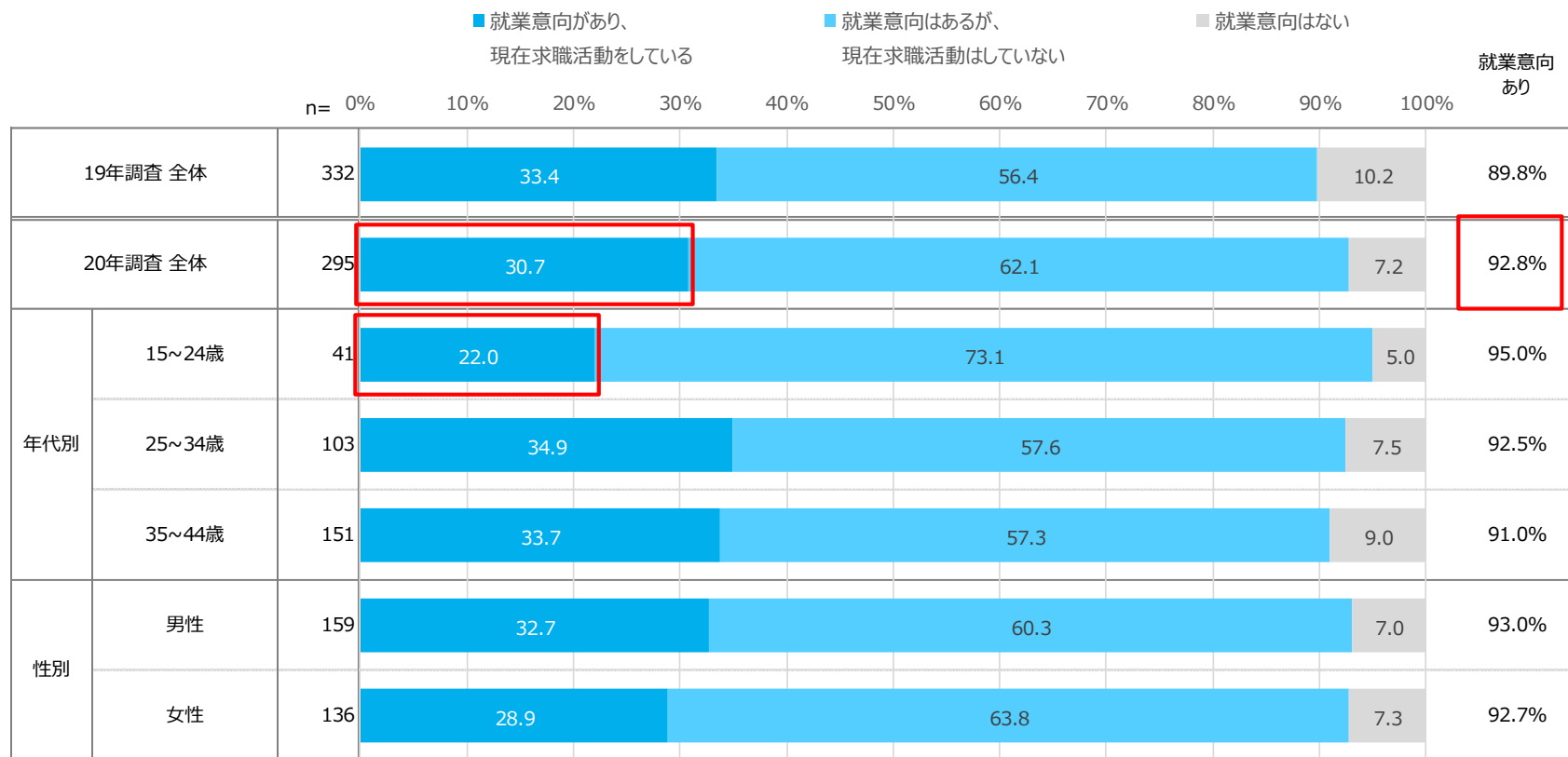
(%)

就業意向と求職活動有無（非就労者）

- ◆ 現在無職の人のうち、「就業意向がある」人は9割強。「現在求職活動をしている」人は3割。
- ◆ 年代別でみると、いずれも「就業意向がある」人は9割台であるが、「現在求職活動をしている」人は15～24歳で2割強と、他の年代よりも低い。

【就業意向と求職活動有無（単一回答）】

※ベース：現在非就労



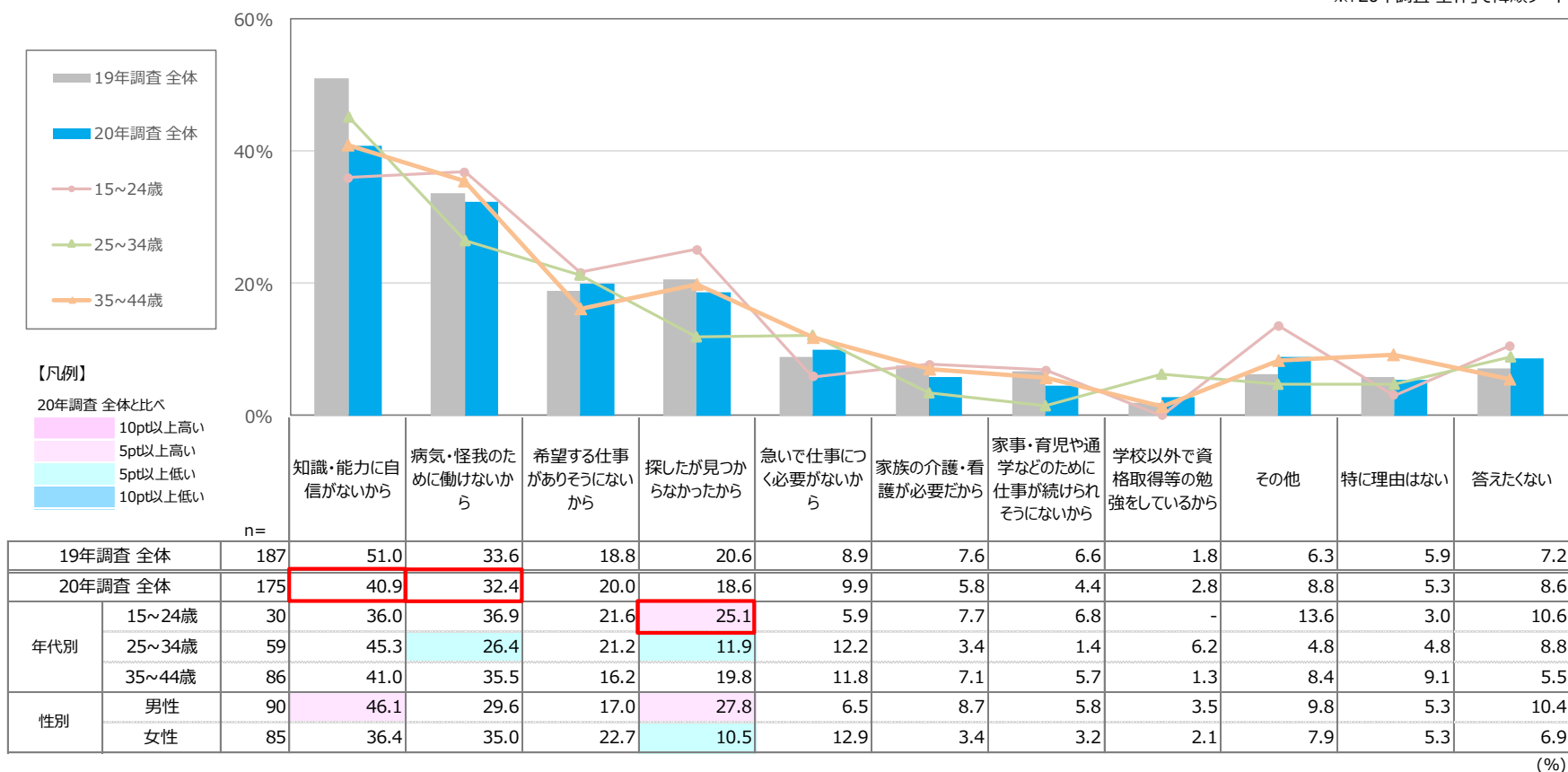
求職活動をしていない理由（非就労者）

- ◆ 【就業意向はあるが求職活動をしていない理由】をみると、「知識・能力に自信がないから」が最も高く、次いで「病気・怪我のために働けないから」が続く。
- ◆ 15～24歳で「探したが見つからなかった」が全体よりもやや高め。

【求職活動をしていない、非就業意向理由（複数回答）】

※ベース：就業意向はあるが求職活動をしていない

※「20年調査 全体」で降順ソート



[データ編] 2-5
仕事さがし

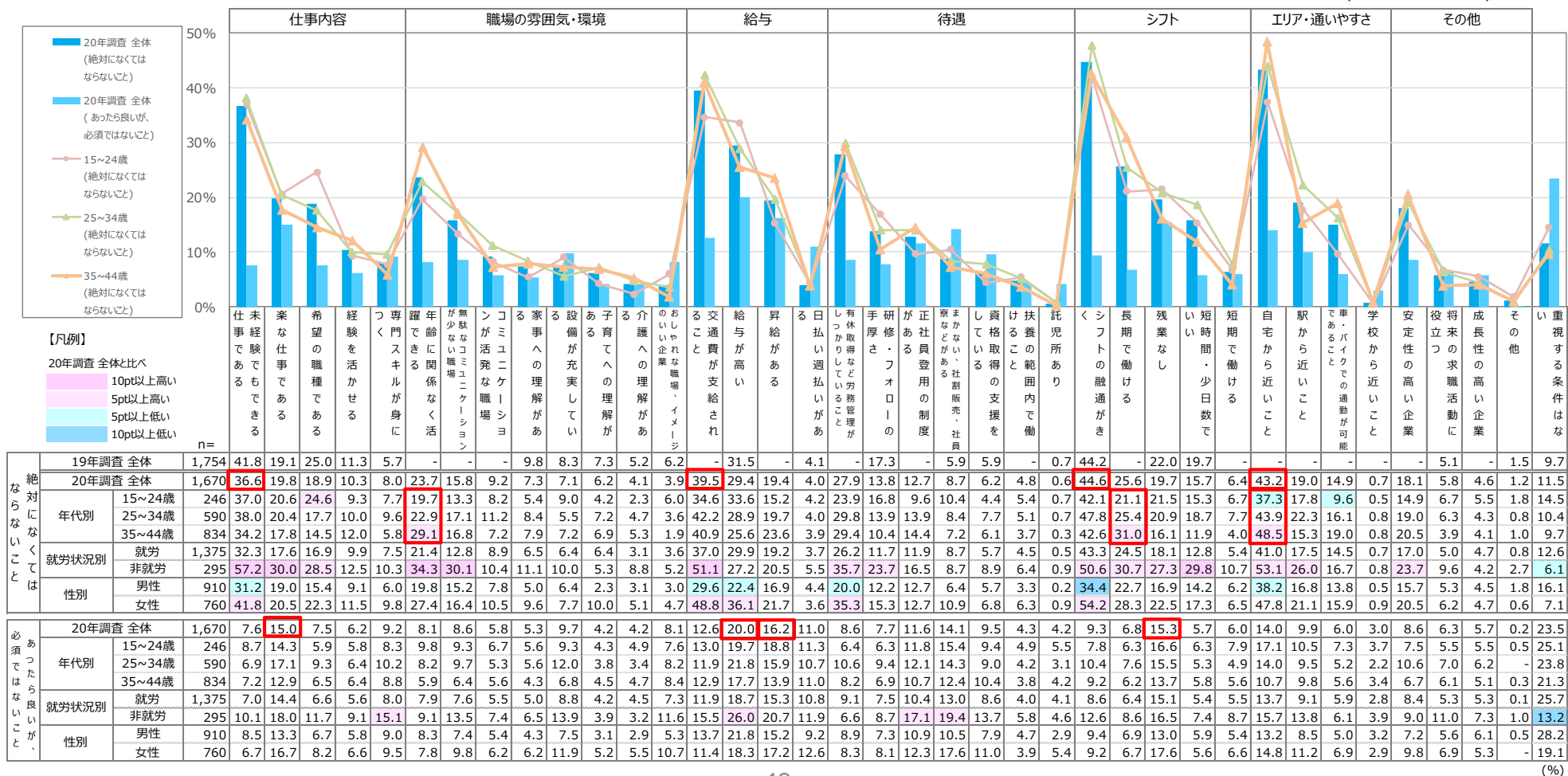
仕事探し時の絶対条件

- ◆ 全体で【仕事探し時の絶対条件】をみると、「シフトの融通がきく」「自宅から近いこと」「交通費が支給されること」「未経験でもできる仕事である」が4割前後と特に高い。
- ◆ 年代別で見ると、「自宅から近いこと」「長期で働ける」「年齢に関係なく活躍できる」は高年層ほど比率が高まる。
- ◆ 全体で【あったら良いが、必須ではないこと】をみると、「給与が高い」「昇給がある」「残業なし」「楽な仕事である」が約2割で特に高い。

【仕事探し時の絶対条件：絶対になくはならないこと／あったら良いが、必須ではないこと（複数回答）】

※ベース：有効回答のみ

※各カテゴリ内について「20年調査 全体(絶対になくはならないこと)」で降順ソート

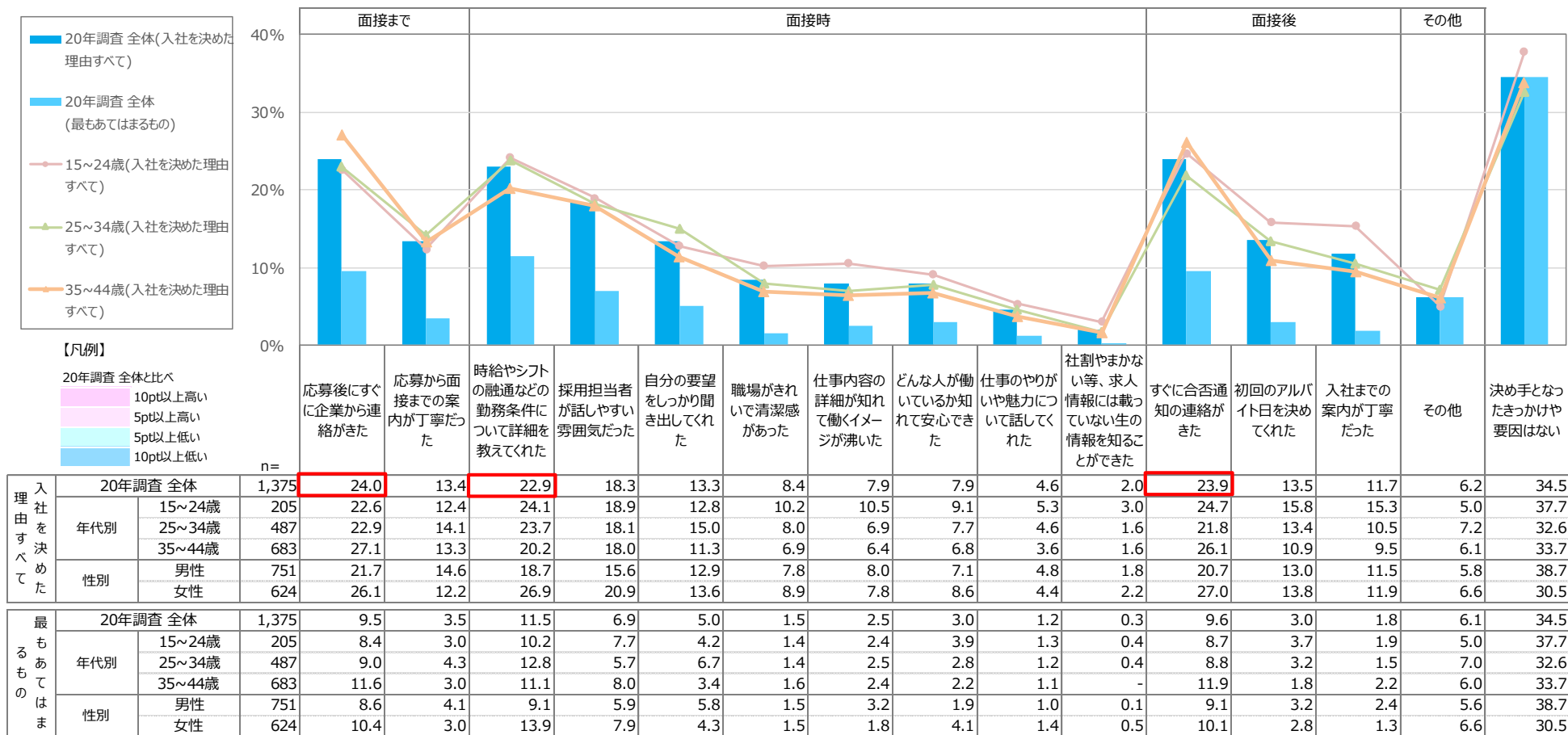


◆ 全体で【入社を決めた理由すべて】は、「応募後にすぐに企業から連絡がきた」「すぐに合否通知の連絡がきた」など『迅速な連絡』のほか、「時給やシフトの融通などの勤務条件について詳細を教えてください」が2割強で特に高い。

【入社の手決め: 入社を決めた理由すべて (複数回答) / 最もあてはまるもの (単一回答)】

※ベース: 現在の職業がパート・アルバイト

※各カテゴリ内について「20年調査 全体(入社を決めた理由すべて)」で降順ソート



(%)

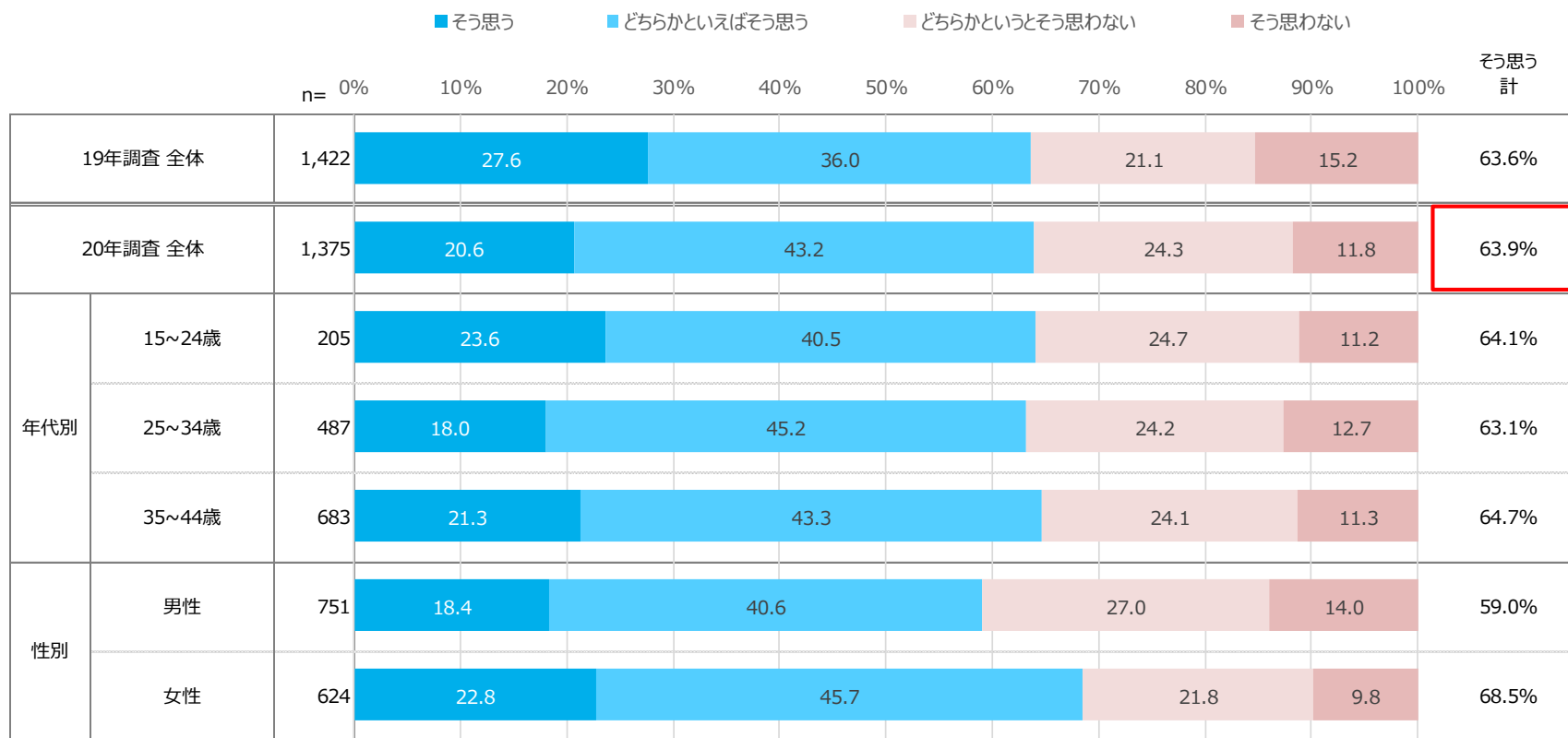
[データ編] 2-6
離職・定着

現アルバイト先での継続就業意向

- ◆ 全体では、現アルバイト先での継続就業意向は6割強。
- ◆ 年代別による現アルバイト先での継続就業意向に差はみられない。

【現アルバイト先での勤務意識：現在のパート・アルバイト先で長く働きたいと思える（単一回答）】

※ベース：現在の職業がパート・アルバイト

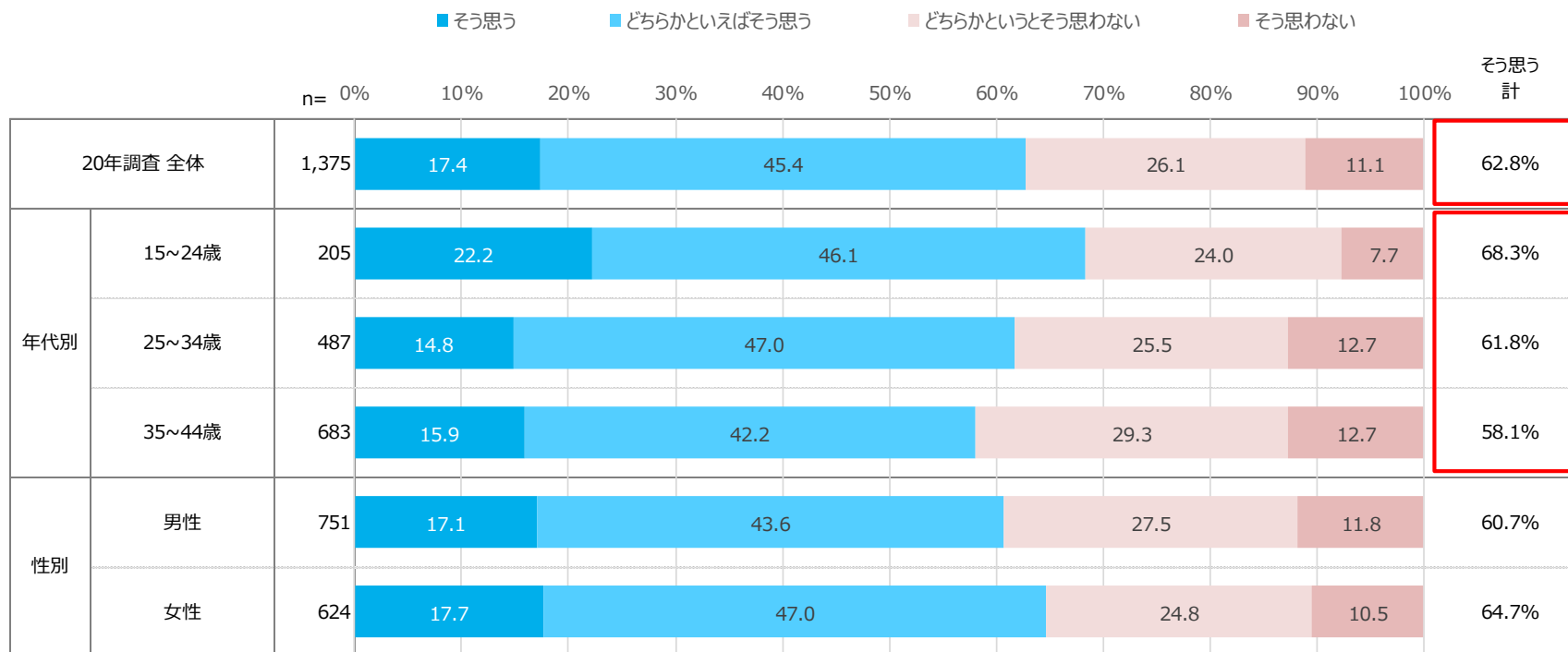


現アルバイト先での満足

- ◆ 全体では、現アルバイト先での満足度は6割強。
- ◆ 年代別でみると、若年層ほど満足度の比率が高まる。

【現アルバイト先での勤務意識：現在のパート・アルバイト先に満足している（単一回答）】

※ベース：現在の職業がパート・アルバイト

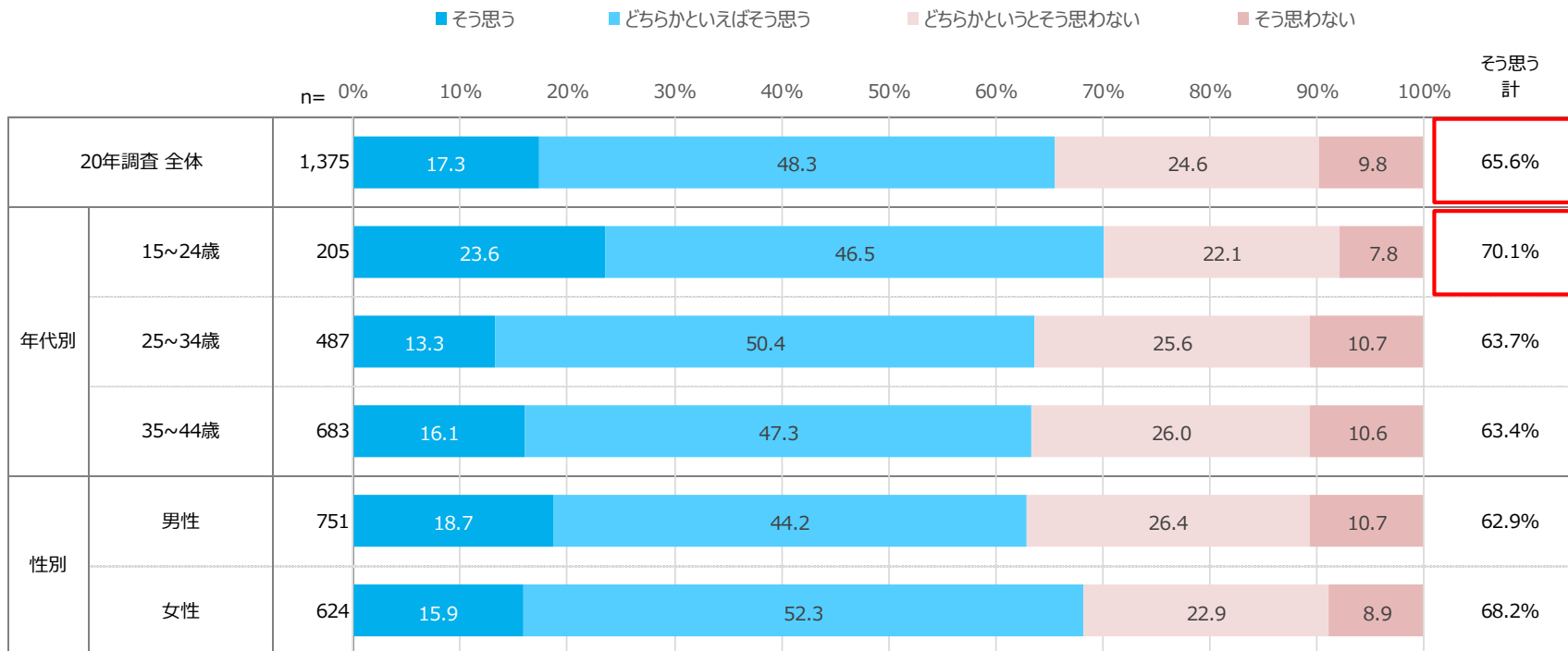


現アルバイト先での前向きな取り組み

- ◆ 全体では、現アルバイト先で前向きに取り組めると回答した人の比率は7割弱。
- ◆ 年代別でみると、15～24歳で現アルバイト先で前向きに取り組めると回答した人の比率が7割と特に高い。

【 現アルバイト先での勤務意識：現在のパート・アルバイトに前向きに取り組める（単一回答） 】

※ベース：現在の職業がパート・アルバイト

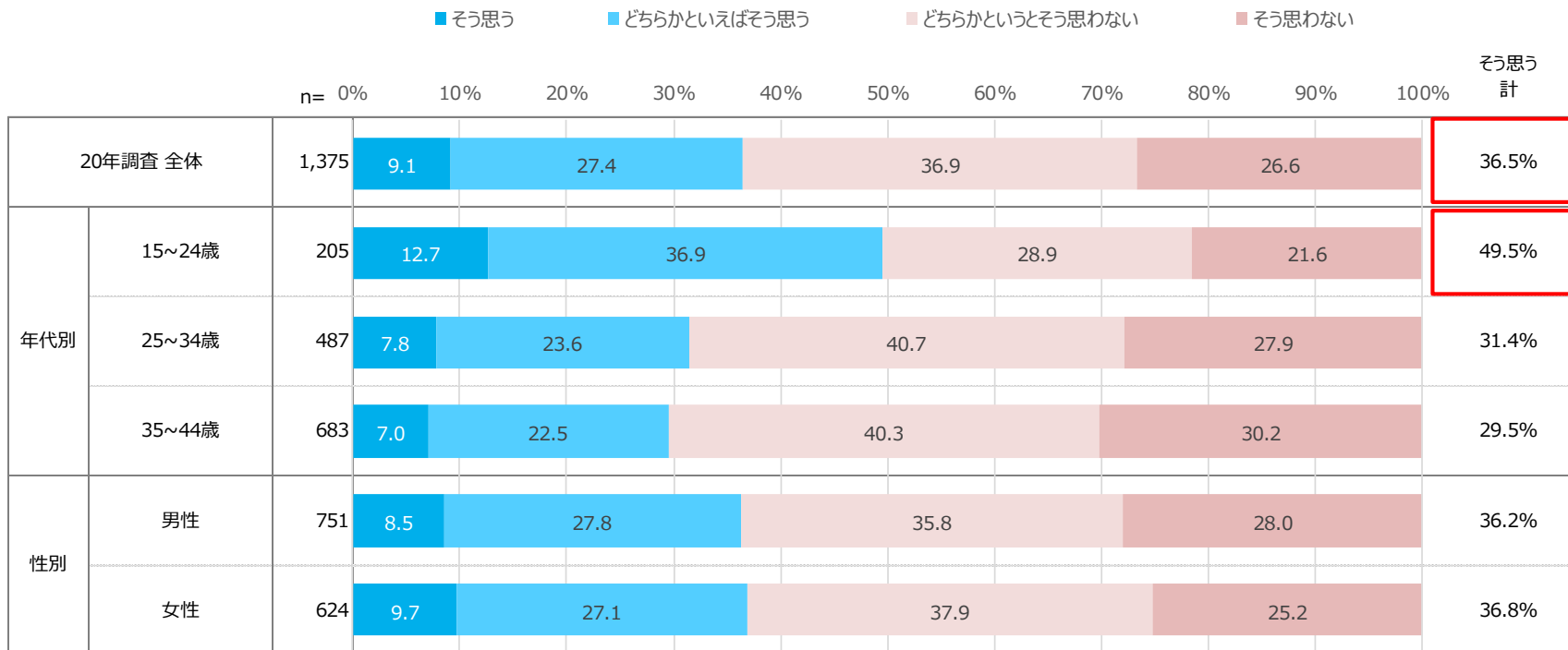


現アルバイト先の勤務推奨意向

- ◆ 全体では、現アルバイト先での勤務推奨意向度は4割弱。
- ◆ 年代別でみると、15～24歳で勤務推奨意向度が5割と突出して高い。

【現アルバイト先での勤務意識：現在のパート・アルバイト先を家族や友人に薦めたいと思える（単一回答）】

※ベース：現在の職業がパート・アルバイト



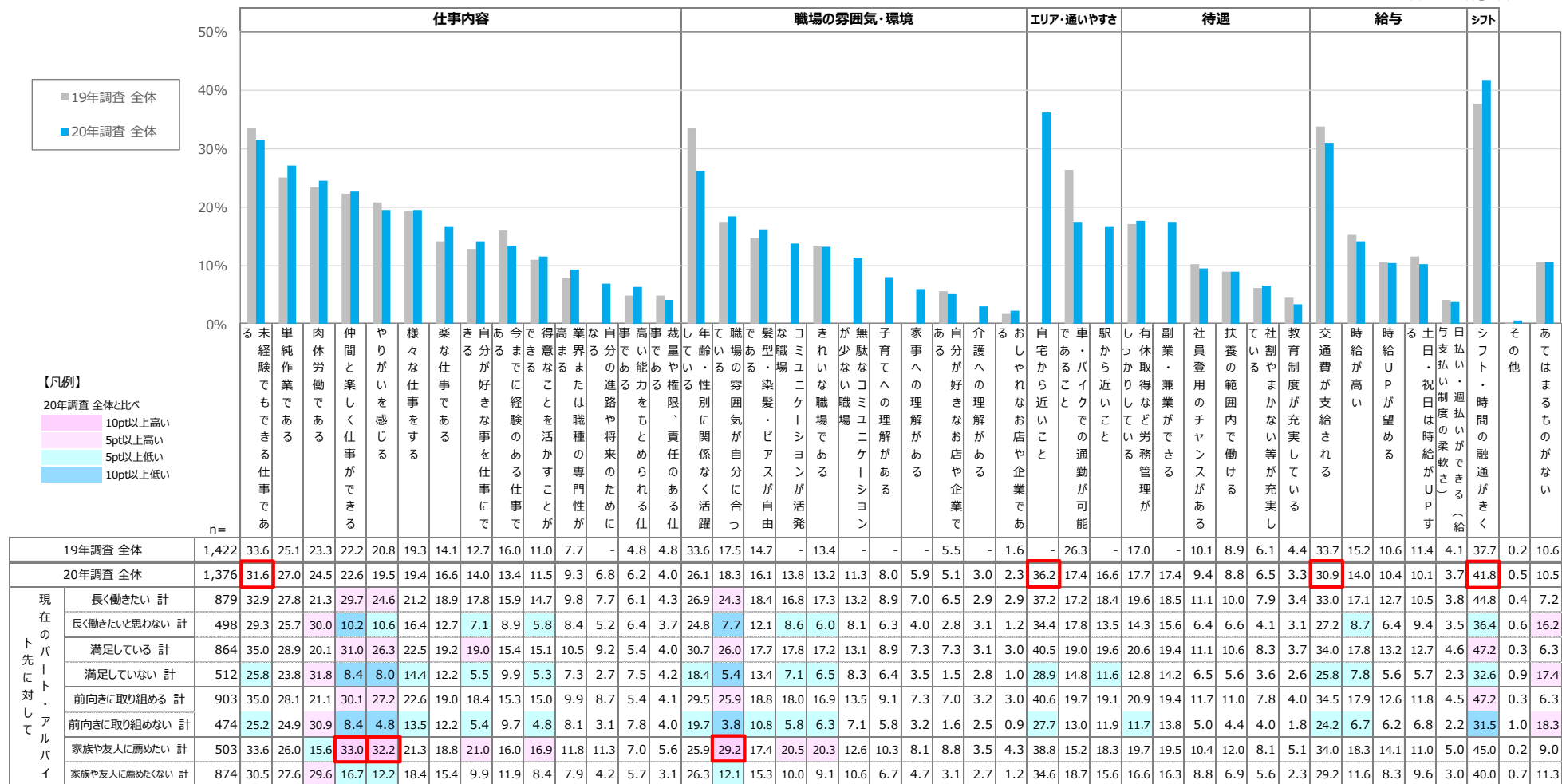
勤務先の実情

- ◆ 全体では、「シフト・時間の融通がきく」「自宅から近いこと」「未経験でもできる仕事である」「交通費が支給される」が3~4割と特に高い。
- ◆ 現在のパート・アルバイト先に対する評価のうち、「家族や友人に薦めたい」と回答した人は、「仲間と楽しく仕事ができる」「やりがいを感じる」「職場の雰囲気が自分に合っている」の回答割合が全体に対して10Pt以上高い。

【勤務先の実情（複数回答）】

※ベース：現在の職業がパート・アルバイト

※各カテゴリ内について「20年調査 全体」で降順ソート



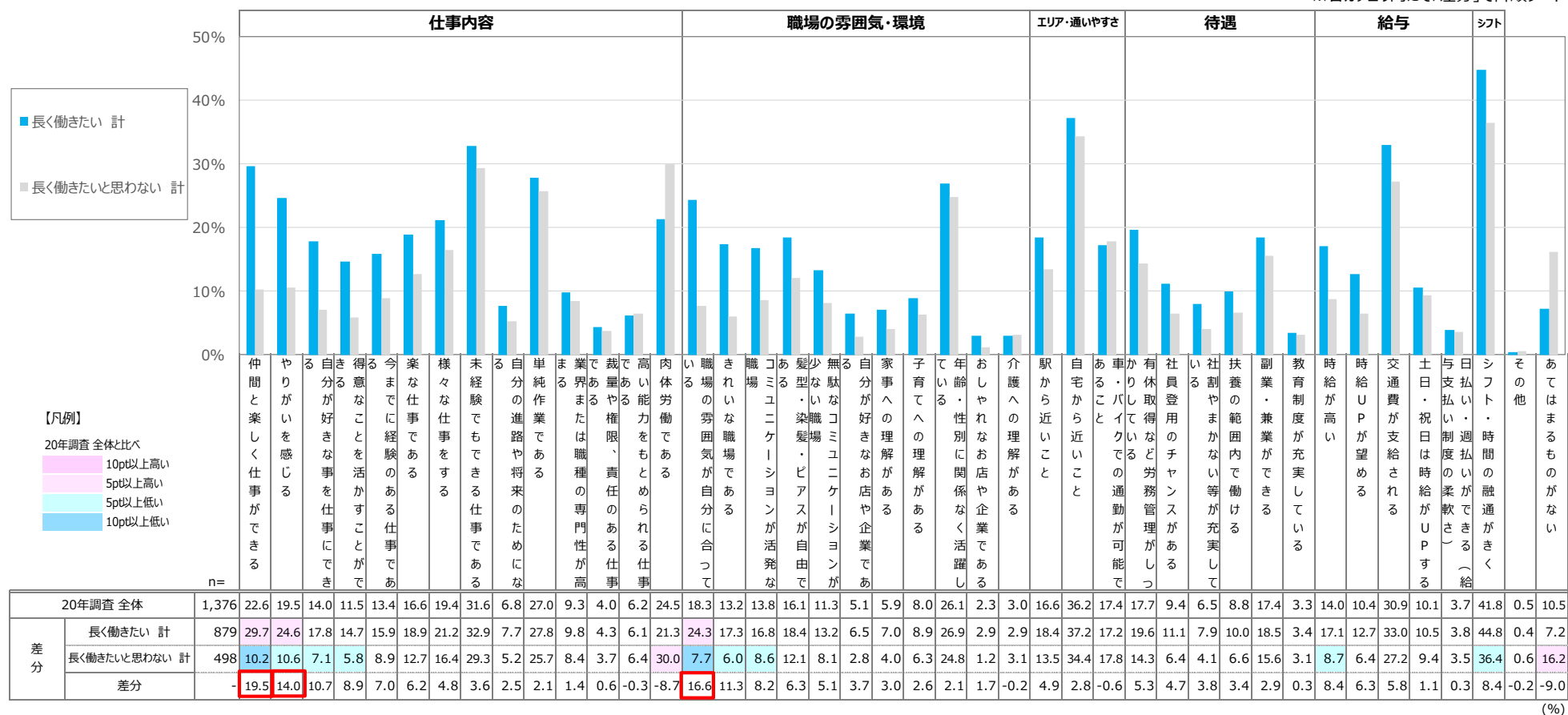
勤務先の実情（継続意向と実情の差）

◆ 現在の勤務先で長く働きたいと思う人と思わない人の差分として、全体では「仲間と楽しく仕事ができる」が最も大きく19.5pt差、ついで「職場の雰囲気自分が合っている」が16.6pt差、「やりがいを感じる」が14.0pt差となっている。

【勤務先の実情（複数回答）】

※ベース：現在の職業がパート・アルバイト

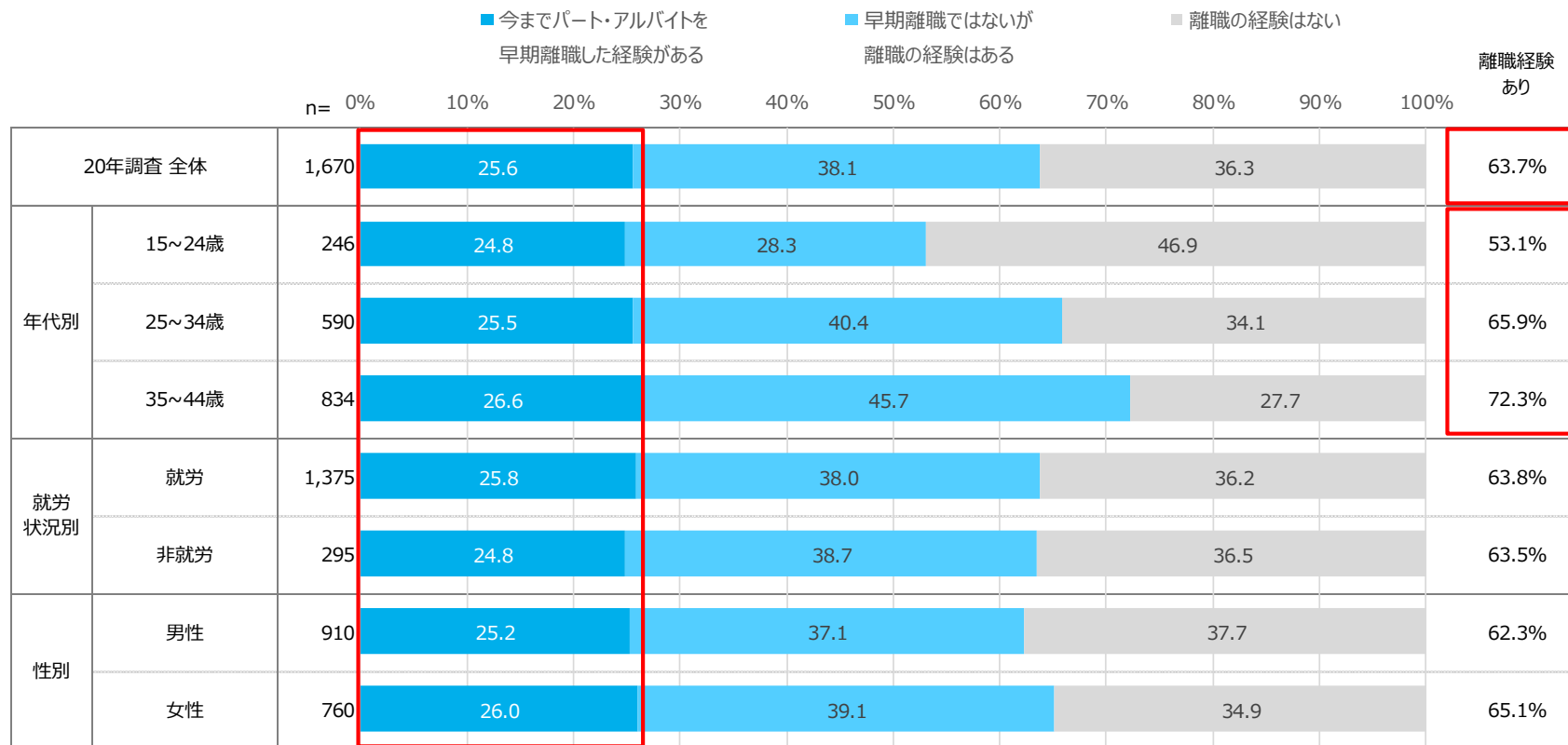
※各カテゴリ内にて「差分」で降順ソート



早期離職経験

- ◆ 全体では、早期離職経験ありは2割半ば。
- ◆ 早期ではないものも含めると、離職経験ありの割合は全体で63.7%。高年層ほど高まる傾向にある。

【早期離職経験（単一回答）】※ここでの「早期離職」：引越し等のやむを得ない状況は含まず、就業当初は長期勤務予定だったアルバイトを【1ヶ月以内】に辞めることとする。
※ベース：有効回答のみ



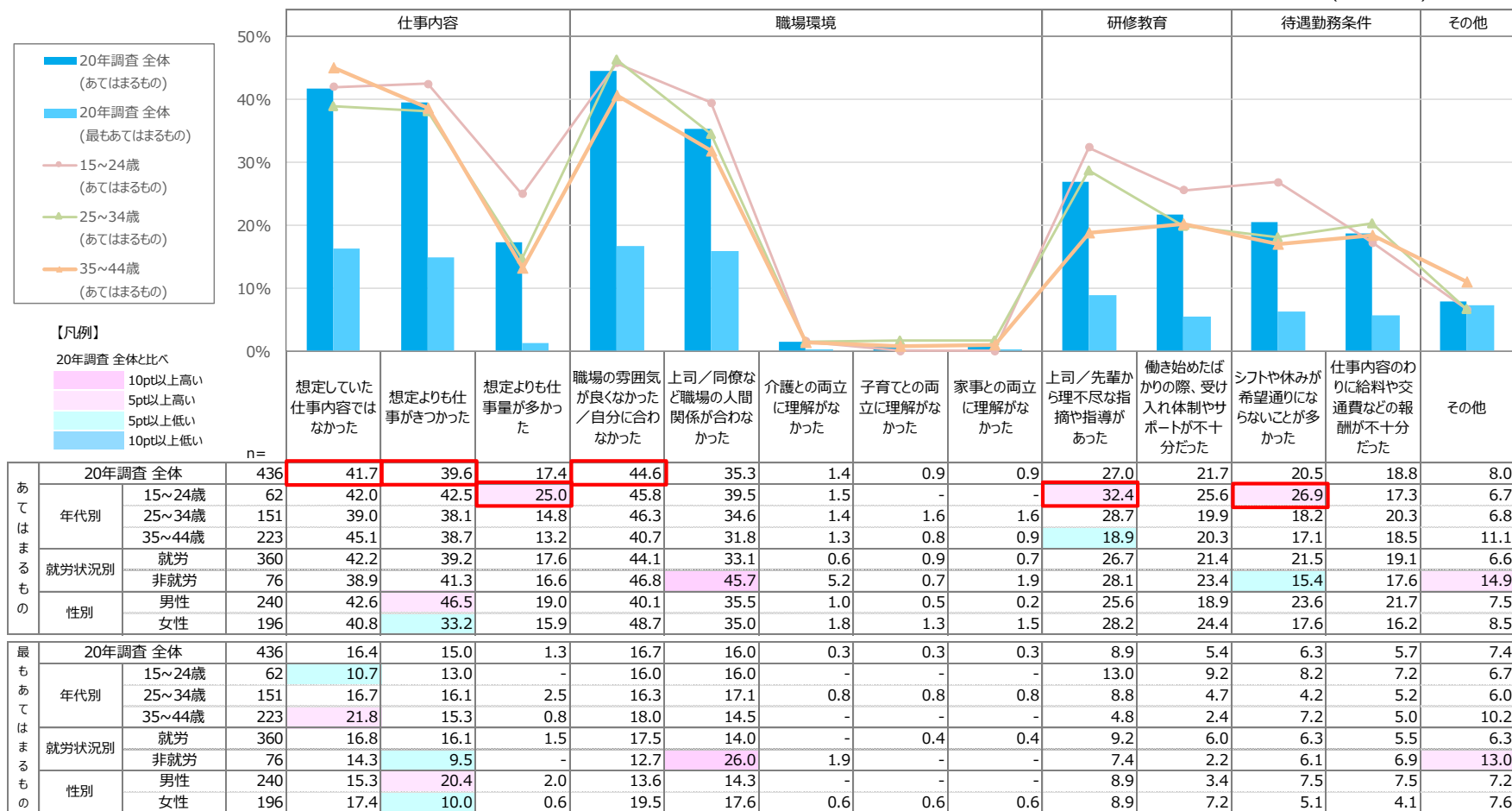
早期離職要因

- ◆ 全体で【あてはまるもの】をみると、「職場の雰囲気が良くなかった／自分に合わなかった」「想定していた仕事内容ではなかった」「想定よりも仕事が多かった」が4割前後と特に高い。
- ◆ 年代別で見ると、15～24歳で「上司／先輩から理不尽な指摘や指導があった」「シフトや休みが希望通りにならないことが多かった」「想定よりも仕事量が多かった」が全体よりも高め。

【早期離職要因：あてはまるものすべて（複数回答）／最もあてはまるもの（単一回答）】

※ベース：今までパート・アルバイトを早期離職した経験がある

※各カテゴリ内について「20年調査 全体(あてはまるもの)」で降順ソート

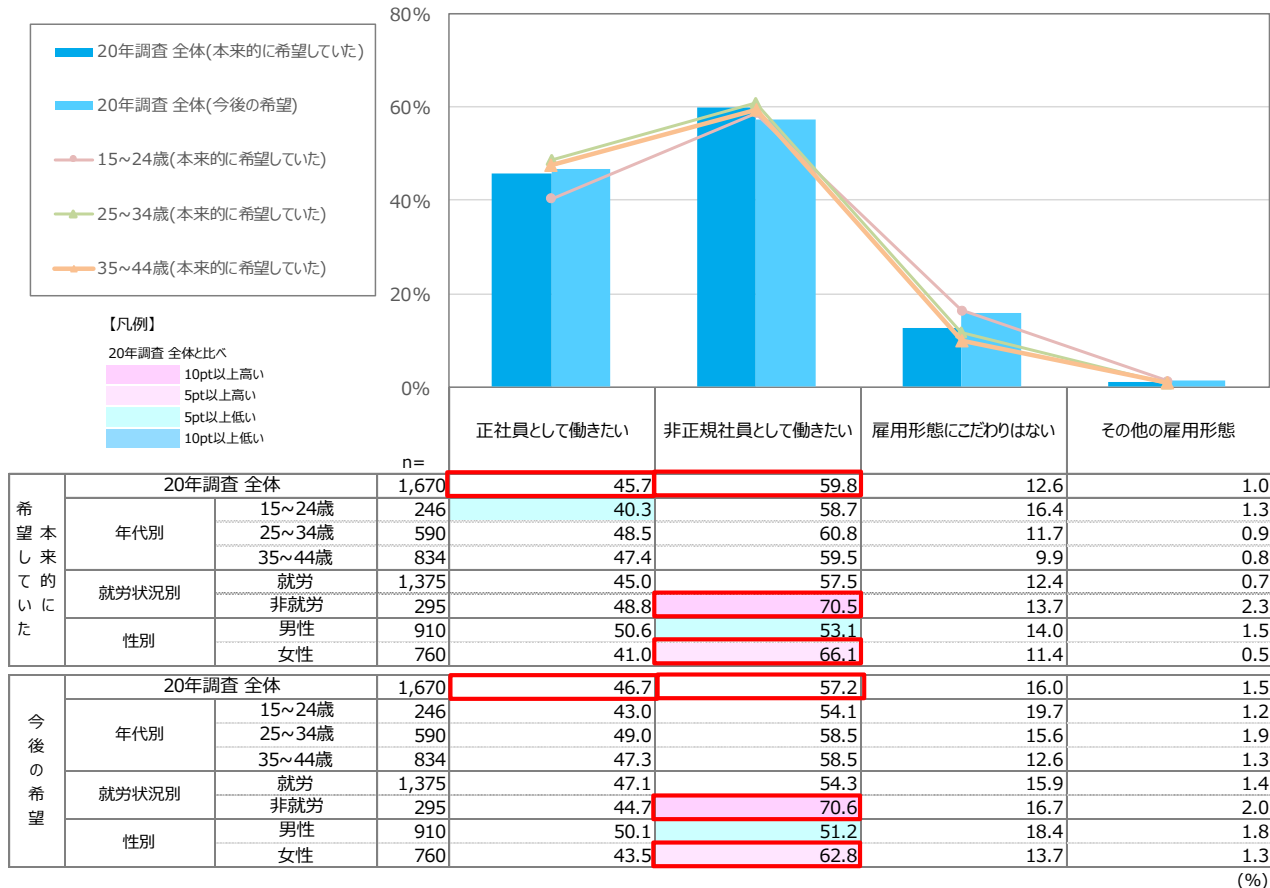


[データ編] 2-7
今後の意向

- ◆ 全体で【今現在、本来的に希望していた雇用形態】、【今後希望する雇用形態】のいずれも、「非正規社員として働きたい」が約6割、「正社員として働きたい」が4割台半ば。
- ◆ 非就労者と女性で「非正規社員として働きたい」が全体よりも高め。

【今後の意向：今現在、本来的に希望していた雇用形態／今後希望する雇用形態（複数回答）】

※ベース：有効回答のみ

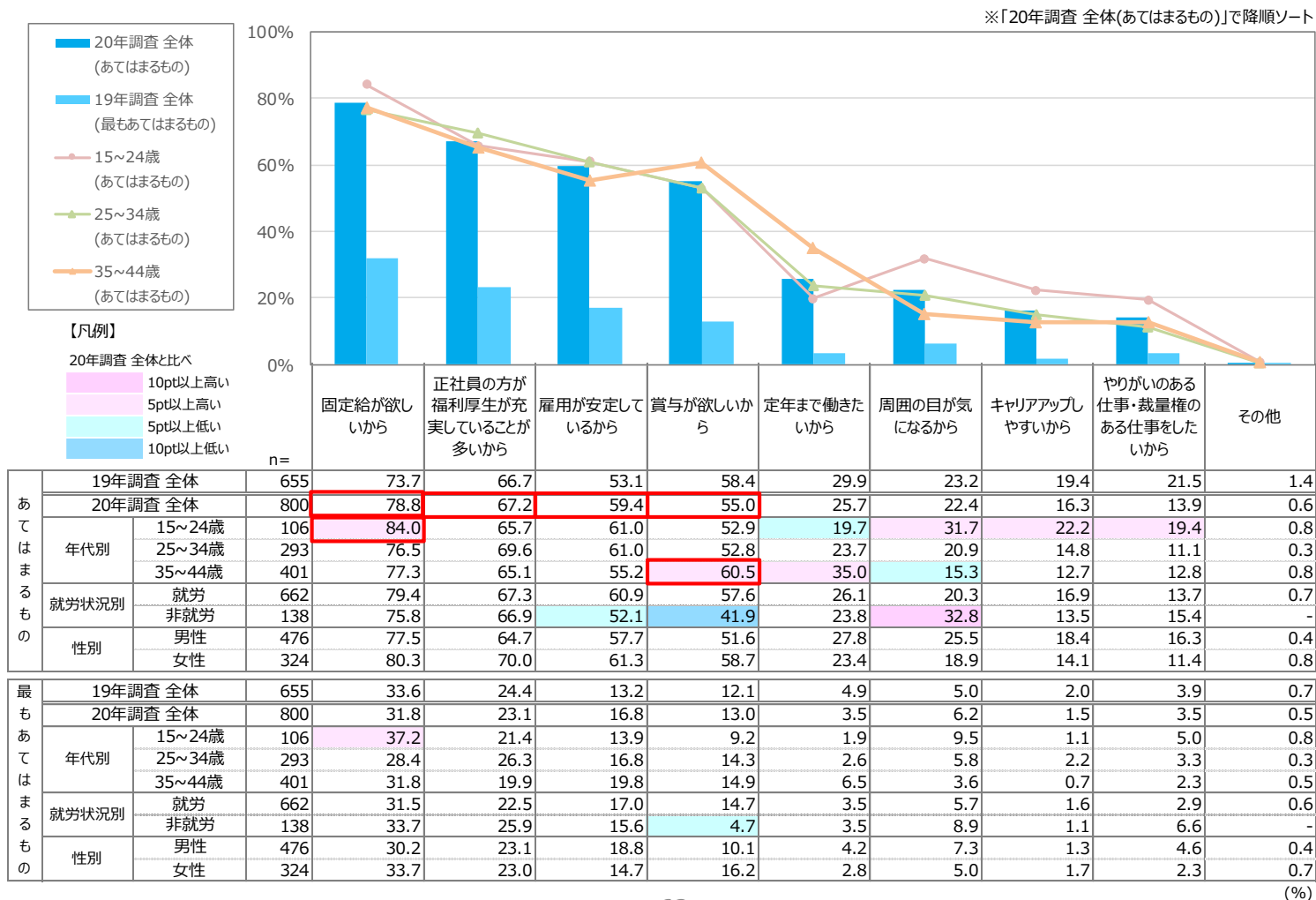


正社員意向有りの理由

- ◆ 全体で【あてはまるもの】をみると、「固定給が欲しいから」「正社員の方が福利厚生が充実していることが多いから」「雇用が安定しているから」「賞与が欲しいから」が特に高い。
- ◆ 年代別でみると、15～24歳で「固定給が欲しいから」、35～44歳で「賞与が欲しいから」が全体よりもやや高め。

【正社員意向有りの理由：あてはまるものすべて（複数回答）／最もあてはまるもの（単一回答）】

※ベース：今後正社員意向あり

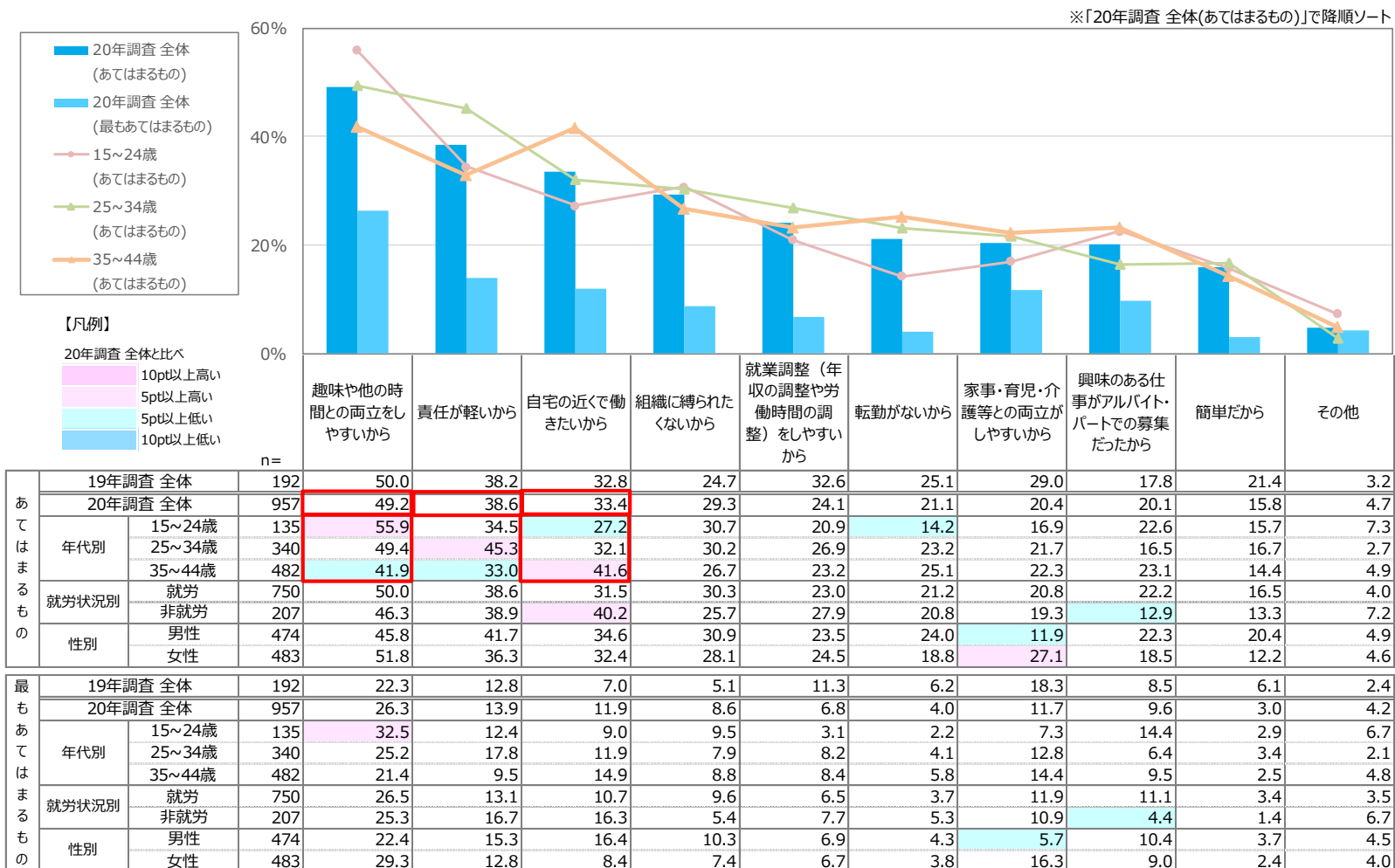


非正規社員意向有りの理由

- ◆ 全体で【あてはまるもの】をみると、「趣味や他の時間との両立をしやすいから」「責任が軽いから」「自宅の近くで働きたいから」などが特に高い。
- ◆ 年代別で見ると、「趣味や他の時間との両立をしやすいから」は若年層ほど、「自宅の近くで働きたいから」は高年層ほど比率が高まる。

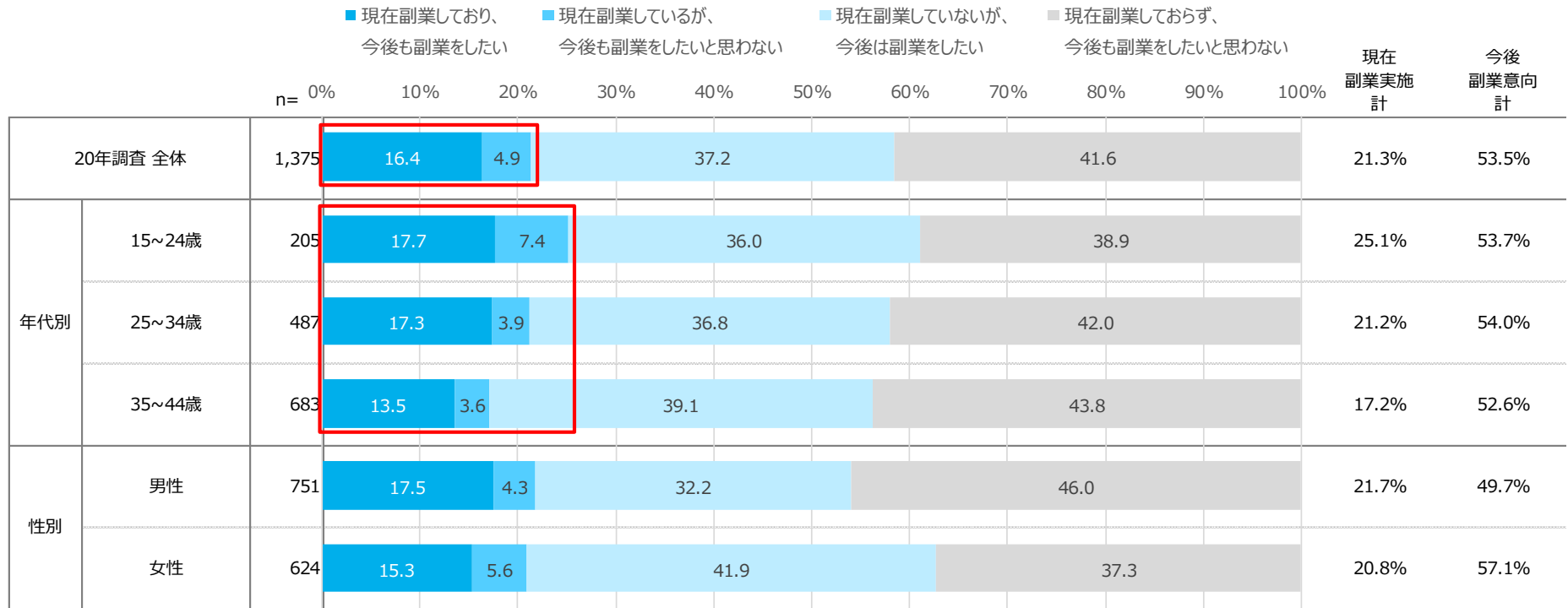
【非正規社員意向有りの理由：あてはまるものすべて（複数回答）／最もあてはまるもの（単一回答）】

※ベース：今後非正規社員意向あり



- ◆ 全体では、【現在実施・計】は約2割、【今後副業意向・計】は5割強。
- ◆ 年代別でみると、【現在実施・計】は若年層ほど高いが、【今後副業意向・計】は年代による差はほとんどない。

【副業実施、意向有無（複数回答）】
※ベース：現在の職業がパート・アルバイト

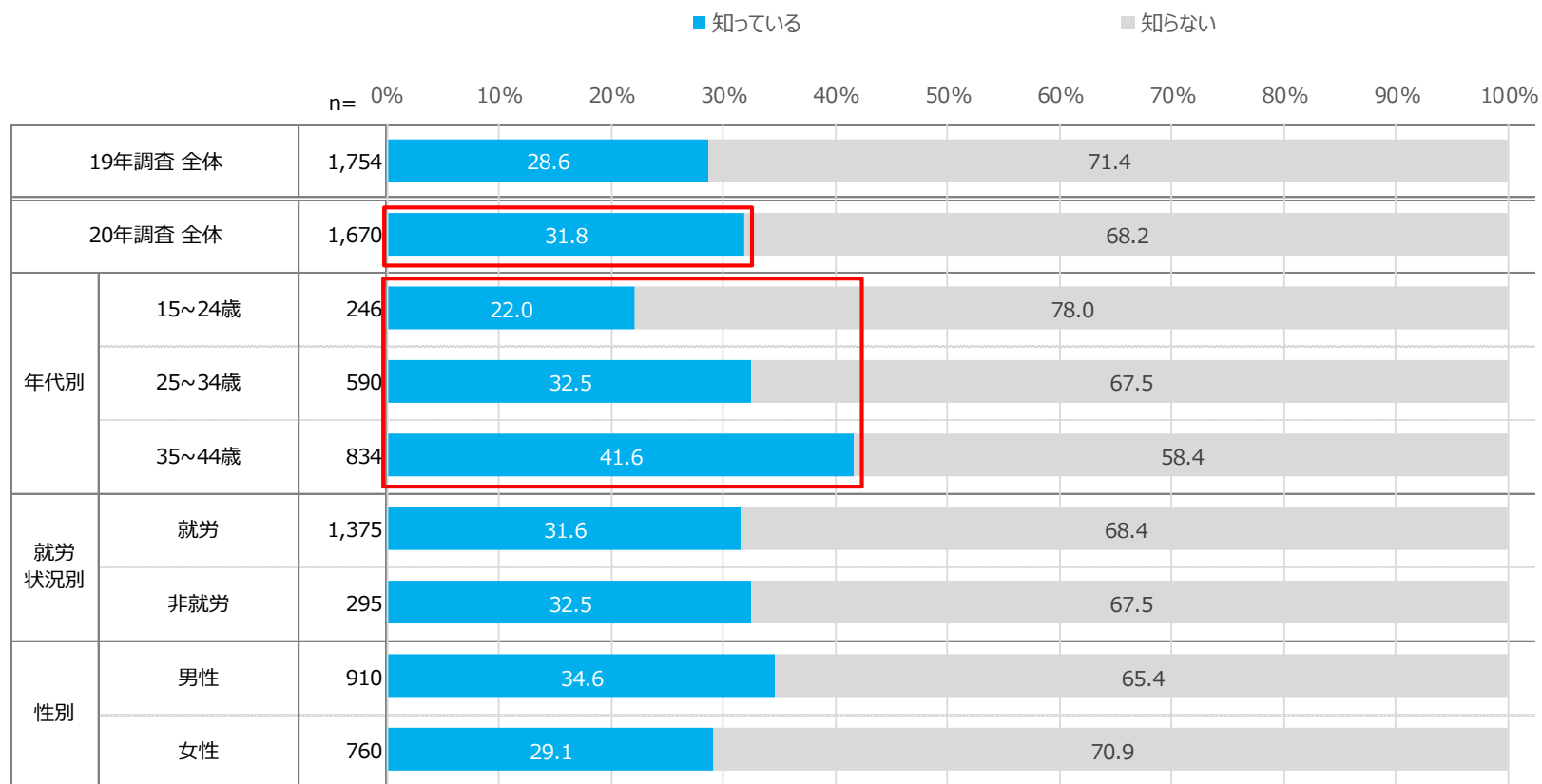


氷河期支援認知

- ◆ 全体では、氷河期支援の認知者は3割強。
- ◆ 年代別で見ると、高年層ほど認知者の比率が高まる。

【氷河期支援認知（単一回答）】

※ベース：有効回答のみ



3. [参考] ウェイトバック集計について

参考) ウェイトバック集計について (スクリーニング調査)

スクリーニングアンケート回答者の構成比 (性年齢) を、市場構成比に近づけるために、『総務省・労働力調査』を基に、以下の通りウェイトバック集計を実施した。

①2020年労働力調査 (5月分データ) より、労働力人口 (労働者) を集計

(万人)	男性			女性		
	15-24歳	25-34歳	35-44歳	15-24歳	25-34歳	35-44歳
3,114	307	625	770	296	512	604

②構成比を算出

TOTAL	男性			女性		
	15-24歳	25-34歳	35-44歳	15-24歳	25-34歳	35-44歳
	9.9%	20.1%	24.7%	9.5%	16.4%	19.4%

③スクリーニングアンケート回答者の構成比を、②の構成比に合わせ集計を実施

■ウェイトバック前の回答者数

TOTAL	男性			女性		
	15-24歳	25-34歳	35-44歳	15-24歳	25-34歳	35-44歳
9,229	135	771	1,573	570	2,434	3,746



■ウェイトバック後の回答者数

TOTAL	男性			女性		
	15-24歳	25-34歳	35-44歳	15-24歳	25-34歳	35-44歳
9,229	910	1,852	2,282	877	1,517	1,790

参考) ウェイトバック集計について (本調査)

本調査回答者の構成比を、スクリーニング調査結果から算出した市場構成比に近づけるために、以下の通りウェイトバック集計を実施した。

- ①労働力調査 (2019年平均速報データ) より
「パート・アルバイト及びその希望者」の年齢階級別人口構成比を算出

(万人)	男性			女性		
	15-24歳	25-34歳	35-44歳	15-24歳	25-34歳	35-44歳
191	27	39	27	32	40	26

<https://www.stat.go.jp/data/roudou/sokuhou/nen/dt/pdf/index1.pdf>

表17 年齢階級別「パート・アルバイト及びその希望者」数の推移、「2019年結果」の人口を使用

- ②構成比を算出

TOTAL	男性			女性		
	15-24歳	25-34歳	35-44歳	15-24歳	25-34歳	35-44歳
	14.1%	20.4%	14.1%	16.8%	20.9%	13.6%

- ③本調査回答者の構成比を、②の構成比に合わせ集計を実施

■ウェイトバック前の回答者数

TOTAL	男性			女性		
	15-24歳	25-34歳	35-44歳	15-24歳	25-34歳	35-44歳
1,670	97	341	472	149	249	362



■ウェイトバック後の回答者数

TOTAL	男性			女性		
	15-24歳	25-34歳	35-44歳	15-24歳	25-34歳	35-44歳
1,670	236	341	236	280	350	227